**sven**

* + **昏**
  + 理由 : 「気絶・意識を失う」というニュアンスを、中国語・日本語ともに「昏倒」「昏迷」など「昏」で連想可能。
  + 学習コスト : 同じ「昏」を「sinkop」にも流用予定。画数は8画だが、1文字で失神を連想しやすいため採用。

1. **sinkop**
   * **昏**
   * 理由 : 医学的な「失神（syncope）」も「昏厥」など「昏」を用いる表現がある。
   * 学習コスト : sven と同字に統合。区別は上付き文字などで行う。
2. **vort**
   * **词**
   * 理由 : 中国語で「単語」を意味する最も代表的な字。日本語でも「詞（ことば）」との対応が想起しやすい。
   * 学習コスト : すでに「昏」とは異なる新規の字だが、語彙分野で最小限必要な漢字と判断。
3. **verb**
   * **动**
   * 理由 : 中国語「动词(=動詞)」の「动」を抜き出して流用。厳密には「動く」の意味だが、文法用語に連想しやすい。
   * 学習コスト : 「词」と同じ「讠」偏ではなく「力＋云」の組み合わせだが、画数は6画と比較的少なめ。
4. **fraz**
   * **句**
   * 理由 : 中国語「句子」、日本語「句（フレーズ）」で「文・文章の一区切り」を直感しやすい。
   * 学習コスト : 5画で比較的少ない。次の「propozici」と統合することで新規字の追加を抑える。
5. **propozici**
   * **句**
   * 理由 : 命題・文・文の最小単位と捉え、「句」にまとめている。
   * 学習コスト : fraz と同じ字を流用し、新たな字を増やさない方針。
6. **vokativ**
   * **格**
   * 理由 : 「呼格」「奪格」「対格」など、文法上の「格」を一括して「格」として表すことにした。
   * 学習コスト : 以下の ablativ / akuzativ も同様に「格」でまとめるため、1文字追加で済む。
7. **ablativ**
   * **格**
   * 理由 : 上記と同じく「〜格」の一種として「格」に統合。
   * 学習コスト : vokativ と同一字。
8. **akuzativ**
   * **格**
   * 理由 : 対格（賓格）も同様。「格」にまとめ、上付き文字で区別する想定。
   * 学習コスト : 新規字不要。
9. **idiotism**

* **文**
* 理由 : 中国語の「成语」や慣用表現全般を「文」のなかに包含するイメージ。
* 学習コスト : 以下の慣用・比喩・諺なども「文」でまとめる。4画と少なく、習得も容易。

1. **proverb**

* **文**
* 理由 : 中国語「谚语」や日本語「諺」をすべて包含し、「文」に集約。
* 学習コスト : すでに登場した「文」を再利用。

1. **sentenc**

* **文**
* 理由 : 「格言」「金言」なども、広義の文章表現として「文」に含める。
* 学習コスト : 新規字不要。

1. **parafraz**

* **文**
* 理由 : 「パラフレーズ」という文の書き換え、修辞上の操作として「文」で統一。
* 学習コスト : 同上。

1. **trop**

* **文**
* 理由 : 「比喩」など修辞技法全般は「文」の範疇として統合。
* 学習コスト : 同上。

1. **metafor**

* **文**
* 理由 : 「隠喩」も修辞法なので「文」で一括。
* 学習コスト : 同上。

1. **indikativ**

* **示**
* 理由 : 「直説法」は中国語で「陈述式(ちんじゅつしき)」だが、“示す”ニュアンスをもつ字「示」で文法カテゴリーをまとめる。
* 学習コスト : 新規だが、次項の「demonstrativ」と同字にすることで抑制。

1. **demonstrativ**

* **示**
* 理由 : 「指示詞」(demonstrative) も「示す」という概念で「示」。
* 学習コスト : indikativ と同字を使い回す。

1. **vokal**

* **音**
* 理由 : 中国語では「元音」、日本語では「母音」だが、“音”をあらわす最小限の字として「音」を採用。
* 学習コスト : 以下の子音・韻律系もまとめて「音」に集約し、新規文字の追加を削減。

1. **konsonant**

* **音**
* 理由 : 「子音」も同じく“音”の一種とみなし、「音」に統合。
* 学習コスト : vokal と同字。

1. **asonanc**

* **音**
* 理由 : 「母音押韻」(assonance) なので韻律・音声の範疇として「音」。
* 学習コスト : 同上。

1. **rim**

* **音**
* 理由 : 「韻・韻脚」(rhyme) も同じく音の分野でまとめ、「音」に収める。
* 学習コスト : 同上。

1. **silab**

* **音**
* 理由 : 「音節」(syllable) も文字どおり「音」の単位として「音」に統合。
* 学習コスト : 同上。

**bombast**

* + **浮夸** / **华而不实的大言壮语** / 浮夸(ふか)は「浮 + 夸(誇)」で「内容に乏しい誇大な表現」を示す / 常用の2字熟語であり、画数も多くない

1. **satir**
   * **讽刺** / **嘲弄・挖苦を含む風刺表現** / 「讽(諷) + 刺」の組み合わせは「風刺」の意味を端的に示す / 中国語で一般的な2字、比較的分かりやすい
2. **paskvil**
   * **讽刺文** / **特に文章としての風刺（パスキル）** / すでに使用の「讽刺」に「文」を付け、風刺文・風刺作品を表す / 「文」は基本字で学習しやすい
3. **fiktiv**
   * **虚构** / **架空・偽りの内容を作り上げること** / 中国語で「フィクション」を示す際によく使う2字 / 「虚」「构」ともに常用字
4. **apokrif**
   * **伪作** / **真正な著者によらない偽作・偽書** / 「伪」は「偽(にせ)」の簡体字、「作」は作る・作品を意味 / 2字で端的に表せる
5. **sofism**
   * **诡辩** / **人を惑わすこじつけ・詭弁** / 「诡(詭)」「辩(辯)」はいずれも常用で、「詭弁」を示す表現として定着 / 意味が明確
6. **skeptik**
   * **怀疑** / **疑いを抱く、懐疑的な態度** / 「怀(懐) + 疑」で「懐疑」を示す / 一般的な2字語で理解しやすい
7. **spekulativ**
   * **思辨** / **深く物事を考察・推論する思弁的思考** / 「思 + 辨」で抽象的・哲学的な「思弁」を表す / 画数はややあるが常用範囲
8. **metempsikoz**
   * **轮回** / **宗教的な意味での魂の転生（輪廻）** / 「轮(輪) + 回」は中国語で「転生・再生」を示す常用語 / 簡潔で頻出
9. **transitiv**

* **他动** / **文法上の「他動詞」を表す** / 「他 + 动(動)」は日本語の「他動」と近い概念 / 2字で覚えやすい

1. **transept**

* **耳堂** / **教会建築で身廊と交差する横部分（トランセプト）** / 建築専門用語だが「耳 + 堂」は比較的画数少なめ / 専門語ゆえ使用頻度は限定的

1. **marĝen**

* **余白** / **紙面・版面などの空き部分、マージン** / 日本語の「余白」と同形で意味をつかみやすい / 「余」「白」ともに初学者にも比較的わかりやすい

1. **elips**

* **省略** / **文章などで一部を省くこと(省略法)** / 中国語でも「省略」は一般的な表現 / 2字熟語で意味が明確

1. **elizi**

* **省音** / **音(特に母音)を省くこと、エリジオン** / 13番の「省」を再利用し、新たに「音」を加えて構成 / 文法用語としてはわかりやすい

1. **deklinaci**

* **格变** / **名詞の格変化を表す** / 「格 + 变(変)」で文法上の「格変化」の意味を示す / なるべく文字数を抑えた構成

1. **fleksi**

* **词尾** / **語尾(語形変化)を指す** / 中国語で「词(詞) + 尾」は「単語の末尾」を表す / 文法用語として簡潔

1. **pleonasm**

* **冗词** / **冗長かつ重複した言い回し(冗言法)** / 「冗 + 词(詞)」で「むだな語」の意 / すでに登場した「词」を再利用

1. **paradigm**

* **词形表** / **語形変化のパターン一覧などを指す** / 「词(詞) + 形 + 表」で「語形の一覧」を表現 / グラマーテーブルの意味合いを持つ

1. **anomali**

* **不规则** / **規則的でない、変則・例外的** / 「不 + 规(規) + 则(則)」で「不規則」を示す / 日常でも「不规则」はよく用いられる

1. **variant**

* **异文** / **標準と異なるテキスト・異文** / 「异(異) + 文」で「異なる文章」の意 / 「文」は既出で再利用

1. **ofer**

* **献祭** / **神仏などに供え物をささげること** / 「献 + 祭」で捧げものをするイメージが明確 / 宗教儀式を示す常用の2字熟語

1. **dediĉ**

* **奉献** / **(身を捧げ)ささげる・献身する** / 「奉 + 献」で「捧げる・ささげる」意味が強まる / 21番の「献」を再利用

1) kontribu/贡献/「貢献」「寄与」の意味。中国語で“to contribute”に最も直接的。/「贡」(tribute)や「献」(献身)を後続語根でも再利用。

2) tribut/贡/「貢(献)」「貢ぎ物」の語感。単独で“tribute”を表しやすい。/「贡献」との共有部分「贡」を再利用。

3) sin/don##/献身/「献身的な」の意。中国語でも“dedicate oneself”に対応。/「贡献」で使用した「献」を再利用。

4) abnegaci/克己/自己を抑える・犠牲にするニュアンス(自制や放棄を含む)。/2文字で画数も比較的少なく、古くからある熟語。

5) bastard/私生子/「私生子」は“庶子”より現代で一般的。正確に“非嫡出子(bastard)”を指せる。/「私」「生」「子」は比較的なじみ深い漢字。

6) orf/孤儿/孤児。/「孤」+「儿」で“孤児”と明確。2文字で意味がはっきり伝わる。

7) vidv/鳏夫/男やもめ、寡婦の男性版。/「鳏」はやや画数が多いが、中国語で“widower”を指す標準的な表現。

8) sklav/奴隶/奴隷。/単に「奴」だと婢(召使い)の語感もあるため「奴隶」で明確化。

9) ermit/隐士/隠者。/「隐」(隠れる) +「士」(人)で“hermit”を端的に表す。

10) fakir/苦行僧/宗教的行者。/やや画数は多いが、中国語で“ascetic monk”を指す代表的用語。

11) viktim/牺牲/「いけにえ」「犠牲者」を含意。/“to sacrifice, victim”両方を包含する常用語。

12) martir/殉教/[宗]殉教(者)を指す語。/「殉」(命を捨てる) +「教」(宗教)で宗教的な“martyr”を明確に。

13) laik/俗人/世俗の人。/宗教的文脈で“lay, secular”を示す際によく使われる。

14) herez/异端/宗教的に“異端”を表す。/2文字で短く、中国語で“heresy”を指す常用表現。

15) profan/亵渎/神聖や宗教を汚す意。/「亵」(けがす) +「渎」(冒涜)で“to profane, blaspheme”の意味が明確。

16) mim/哑剧/物まね・パントマイム。/「哑」(口がきけない) +「剧」(劇)で“mime, pantomime”を示す。

17) akrobat/杂技/曲芸・雑技(アクロバット)。/2文字で“acrobatics”を端的に表す常用語。

18) monopol/垄断/独占。/現代中国語で“monopoly”を表す最も標準的な単語。

19) monomani/偏执狂/偏執症、偏執狂。/“monomania, paranoia”に近い表現で、中国語でも一般的。

20) solecism/语病/語法的誤り、言葉の誤用。/“語法違反”を端的に示し、2文字で簡潔。

21) monolog/独白/舞台などでの独白。/2文字で“monologue”の意味が分かりやすい。

22) monoton/单调/単調。/“monotonous”を指す常用の2文字表現。

**unison**

* + **提案漢字:** 齐
  + **選定理由:** 音楽で「ユニゾン」を表す際、中国語では「齐奏」「齐唱」などの形で“同時にそろって”演奏・歌唱する意味を表す。「齐」単独でも「そろう・いっしょに行う」ニュアンスを持つため割り当て。
  + **学習コスト:** 「齐」は簡体字で画数が少なく、中国語でも頻出の部類。日本語の「斉」に相当し、意味を連想しやすい。

1. **liber**
   * **提案漢字(熟語):** 自由
   * **選定理由:** 「自由」は中国語でも日本語でも広く「束縛がないこと」「自由」を意味し、最も直感的に一致する。
   * **学習コスト:** 「自」「由」はともに画数が少なく、頻出漢字。すでに他の単語（自発、自伝など）でも「自」を多用する見込みがあり、学習コストを抑えやすい。
2. **liberal**
   * **提案漢字(熟語):** 自由主义
   * **選定理由:** 政治思想としての「自由主義」は中国語で「自由主义」が定訳。日本語にも「自由主義」という対応があり、意味の対応が分かりやすい。
   * **学習コスト:** 「自」「由」は既出。「主」「义」も中国語で非常に頻度が高い要素（例：主要・主义など）で、学習コストは比較的低め。
3. **improviz**
   * **提案漢字(熟語):** 即兴
   * **選定理由:** 「即兴」は「即興」を意味する中国語の常用表現。英語の「improvise」に対応しやすく、日本語「即興」とも近いニュアンス。
   * **学習コスト:** 「即」「兴」はどちらも比較的よく使われる。画数も多すぎず、学習コストは高くない。
4. **spontane**
   * **提案漢字(熟語):** 自发
   * **選定理由:** 「自発的」の意味に対応する中国語は「自发(的)」。行動の主体が自分から出るニュアンスをストレートに表せる。
   * **学習コスト:** 「自」は既出、「发」も頻出字(「发展」「发现」など多数)。再利用しやすい。
5. **kapric**
   * **提案漢字(熟語):** 任性
   * **選定理由:** 「capricious（気まぐれ・わがまま）」に最も近い中国語表現は「任性」。やや「わがまま」「自己中心的」寄りだが、言語運用上は「気まぐれ」のニュアンスにも十分対応する。
   * **学習コスト:** 「任」は後述の「任意」などとも関連し得る。「性」は「本能」「个性」などの語でも出現しうるため汎用性は高い。
6. **arbitr**
   * **提案漢字(熟語):** 任意
   * **選定理由:** 「arbitrary（任意の、専横な）」に直結する標準的な中国語が「任意」。先の「任性」と「任」の字を共有しつつ、こちらは「任意＝勝手に設定できる」ニュアンス。
   * **学習コスト:** 「任」は再利用、「意」は「意味」「意図」「主意」などで頻出。組み合わせとしても理解しやすい。
7. **naturalism**
   * **提案漢字(熟語):** 自然主义
   * **選定理由:** 「自然主義」を中国語で表すと「自然主义」が標準的。
   * **学習コスト:** 「自」「然」「主」「义」はいずれも既出か頻出で、他の語にも転用しやすい。
8. **natur**
   * **提案漢字(熟語):** 自然
   * **選定理由:** 「自然」は「nature」そのものを指す最も基本的な中国語。
   * **学習コスト:** 「自」は既出、「然」は自然主义などでも使い回せる。画数はやや多いが頻出字。
9. **instinkt**

* **提案漢字(熟語):** 本能
* **選定理由:** 「本能」は日本語と同じく中国語でも「instinct」を指す一般的表現。
* **学習コスト:** 「本」「能」ともに常用漢字で、各種熟語（才能・功能など）で見かけるため学びやすい。

1. **aŭtograf**

* **提案漢字(熟語):** 亲笔
* **選定理由:** 「自筆（自分で書く）」を中国語で表現する際、最も自然な言い方は「亲笔」（“本人が直接書いた”の意）。「签名」は「署名」寄りの意味。
* **学習コスト:** 「亲」「笔」は新出だが、いずれも中国語で非常に日常的（「亲自」「亲戚」「笔记」など）で利用範囲が広い。

1. **aŭtobiografi**

* **提案漢字(熟語):** 自传
* **選定理由:** 「自伝」を指す標準的な中国語が「自传」。
* **学習コスト:** 「自」は既出、「传」は「伝える」の意で頻用される字（「新闻传递」「传说」「宣传」など）。再利用しやすい。

1. **individu**

* **提案漢字(熟語):** 个人
* **選定理由:** 「個人」を意味する中国語は「个人」が最も一般的。
* **学習コスト:** 「个」「人」はいずれも最頻出クラスの字で、すでに他の熟語にも派生しやすい。

1. **propr**

* **提案漢字(熟語):** 固有
* **選定理由:** 「固有の」「本来持っている」「そのものに特有の」という意味を表す際に、中国語では「固有」が適切。ニュアンス的に「特有」と近いが、「固有」のほうが「元から内在している」感じを明確に伝えられる。
* **学習コスト:** 「固」は比較的基本的な漢字。「有」は再三登場する可能性が高く、多用途。

1. **privat**

* **提案漢字(熟語):** 私人
* **選定理由:** 「私的な」「プライベートな」の意味として、中国語では「私人○○」(私人生活・私人空间など)とよく表現される。
* **学習コスト:** 「私」は新出だが画数は少なめ、「人」は既出で非常に基本的。

1. **aŭtonom**

* **提案漢字(熟語):** 自治
* **選定理由:** 「自治の」「自律的な」という意味では、中国語は「自治」が最も直接的。
* **学習コスト:** 「自」は既出、「治」も「治理」「治安」などで出現しやすく、習得価値が高い。

1. **mem**

* **提案漢字(熟語):** 自己
* **選定理由:** エスペラントの「mem」は「自身・自分」の意。中国語で「自己」は「自分自身」を指す最も標準的な表現。
* **学習コスト:** 「自」は既出、「己」はやや少ないが「知己」「利己」などの語があり、中国語学習でも基本的な部首の一つ。

1. **antipod**

* **提案漢字(熟語):** 对跖点
* **選定理由:** 「対蹠地（地球上で正反対の地点）」を指す学術用語として、中国語では「对跖点」が定訳。
* **学習コスト:** 「对」「点」は頻出だが、「跖」は専門用語で稀少かつやや画数が多い。専門性が高いため、学習優先度を下げるなら「未対応」も検討可。

1. **kontrapunkt**

* **提案漢字(熟語):** 对位
* **選定理由:** 音楽理論の「対位法」は中国語で「对位法」と呼ばれ、短縮して「对位」とも。
* **学習コスト:** 「对」はすでに出現。「位」は「位置」「地位」などで使う頻出字。組み合わせとして分かりやすい。

1. **paradoks**

* **提案漢字(熟語):** 悖论
* **選定理由:** 「逆説」「パラドックス」を指す標準的な中国語は「悖论」。文献や学術的な場面で広く使われる。
* **学習コスト:** 「悖」はあまり日常で見かけないが、論理関係を表す「论」は頻出。（「讨论」「理论」など）

1. **invers**

* **提案漢字(熟語):** 逆
* **選定理由:** 「逆の」「反対方向の」「反転した」という意味を単独の簡体字で表すなら「逆」が最適。
* **学習コスト:** 「逆」は画数9画ほどだが、比較的基本的な字。「反」などとの混同に注意が必要だが、意味の差は明確。

1. **mal**

* **提案漢字:** 反
* **選定理由:** エスペラントの接頭辞「mal-」は「反対・逆」を示すため、中国語の単字「反」がベストマッチ。
* **学習コスト:** 「反」は4画で非常に基本的。日本語「反対」の「反」と同じ形で、視覚的にも連想しやすい。

### 1) rezist

**提案:** 抗  
**理由:**

* 中国語では「抵抗(dǐkàng)」「反抗(fǎnkàng)」「抗争(kàngzhēng)」など、「抗」が“抵抗・抗う”の中心的な意味を担う。
* 日本語でも「抵抗」「抗議」「抗生物質」などで「抗」は“抗う”意味を連想できる。  
  **学習コスト:**
* 画数は7画程度で、比較的少ない。
* 後述の「抗議(抗+議)」(protest)とも部品を共有できる。

### 2) konflikt

**提案:** 冲突  
**理由:**

* 中国語で「衝突(chōngtū)」は“対立・衝突・コンフリクト”全般を表す非常に一般的な表現。
* 日本語の「衝突」と同義で、簡体字では「冲突」と書く。  
  **学習コスト:**
* 2文字だが、いずれも日中で馴染みがあり(日本語の「衝」「突」に相当)、意味が推測しやすい。
* 「冲(6画)」「突(8画)」ともに頻出度は高め。

### 3) antipati

**提案:** 反感  
**理由:**

* 中国語で「反感(fǎngǎn)」は“反発・嫌悪・反感”を意味し、非常に一般的。
* 日本語でも「反感」は同じ語形・意味で使われるため、直感的に理解しやすい。  
  **学習コスト:**
* 「反(4画)」は後述の“反対・反～”などで再利用可能。
* 「感(13画)」はやや画数が多めだが、日本語でも「感覚」「感情」等で頻出のため認知しやすい。

### 4) opozici

**提案:** 反对  
**理由:**

* 中国語で「反对(fǎnduì)」は“反対する、異議を唱える”を直接表す最も標準的な語。
* 日本語話者にも「反対」のイメージで容易に意味が推測できる。  
  **学習コスト:**
* 「反」(前述)と「对(5画)」の組合せ。どちらも頻出字で汎用性が高い。

### 5) opozici##

**提案:** 反对  
**理由:**

* 上と同じく「opozici」の名詞形(“反対”そのもの)としても「反对」が広く使われる。
* そのまま再利用可能。必要に応じて上付き文字等で区別予定。  
  **学習コスト:**
* 「4) opozici」と同一文字のため、追加負担なし。

### 6) protest

**提案:** 抗议  
**理由:**

* 中国語で「抗议(kàngyì)」は“抗議・抗弁”を表す定番の単語。
* 日本語の「抗議(こうぎ)」と一字違い(「議→议」)で分かりやすい。  
  **学習コスト:**
* 「抗」は既出( rezist )。
* 「议(5画)」は簡体字で、「議」の略体。比較的画数も少なく頻出度が高い。

### 7) opon

**提案:** 反对  
**理由:**

* 「opon」も“反対する、対立する”ニュアンスの動詞。
* 「反对」を再利用すれば日中とも簡明に理解可能。  
  **学習コスト:**
* 既出の「反」「对」をそのまま流用。追加負担なし。

### 8) ekstaz

**提案:** 狂喜  
**理由:**

* 中国語で「狂喜(kuángxǐ)」は“狂おしいほどの喜び→熱狂・恍惚”を表し、エクスタシーに近いニュアンス。
* 日本語でも「狂喜」は通じる表現(※「歓喜」との違いに注意)。  
  **学習コスト:**
* 「狂(7画)」「喜(12画)」はいずれもやや画数多めだが、頻出度は高い(「疯狂」「喜欢」など)。

### 9) apostrof

**提案:** 撇号  
**理由:**

* 中国語で「撇号(piēhào)」は書式上の“アポストロフィ”を指す言い方として使われる。
* 日本語にも「撇(へつ/ひつ)」や「号(ごう)」の字形が分かるので、意味を推定可能。  
  **学習コスト:**
* 特殊用語ではあるが、2文字を組み合わせれば中国語母語話者に通じやすい。
* 単字化は難しく、やむを得ず2文字割当。

### 10) abiturient

**提案:** 毕业  
**理由:**

* 本来は「高中毕业生」(高等学校卒業生)が直訳に近いが、文字数が多く学習コストが増大する。
* ここでは**卒業**を示す「毕业(bìyè)」で簡略化。厳密には“卒業生”ではないが、近い概念として便宜的に採用。  
  **学習コスト:**
* 「毕(6画)」「业(5画)」ともに比較的よく使われる簡体字(日本語の「畢」「業」に相当)。
* 若干ニュアンスのズレはあるが、簡便性重視。

### 11) pasiv

**提案:** 被动  
**理由:**

* 中国語の「被动(bèidòng)」は“受動的である、受け身の～”を端的に表す。
* 日本語の「被」「動」に近く、文法用語「被动语态(受動態)」等で使われる。  
  **学習コスト:**
* 「被(10画)」「动(6画)」。いずれも頻出字で、多用途(受身構文、行動など)に転用しやすい。

### 12) diplom

**提案:** 证  
**理由:**

* 中国語で「证(zhèng)」は「証明書・証拠・証言」「証(しょう)」を示す汎用文字。
* 「文凭」「毕业证」「证书」等の形で“免状・証書”を表すが、ここでは**1文字に集約**して負担を減らす。  
  **学習コスト:**
* 5画で簡潔かつ多用されるため、日本語話者にも「証」に相当すると伝わりやすい。

### 13) laks

**提案:** 泻  
**理由:**

* 中国語で「腹泻(fùxiè)」は“下痢”を表す標準的な表現。ただし2文字以上になるので、ここでは\*\*“泻”単独\*\*で“下痢の症状”のイメージを近似。
* 厳密さは劣るが、「泻」→「腹泻」「泻药(下剤)」など連想可。  
  **学習コスト:**
* 8画。単字ゆえ割当を簡素化。

### 14) dispepsi

**提案:** 消化不良  
**理由:**

* 中国語でも日本語でも「消化不良(xiāohuà bùliáng)」が“消化障害・胃腸の不調・インディゲスチョン”を最も的確に表す。
* 「消」「化」「不」「良」はいずれも単純かつ使用頻度の高い字。  
  **学習コスト:**
* 4文字でやや増えるが、それぞれ日常語彙(「不」「良」「消」「化」など)に頻出。

### 15) marasm

**提案:** 衰弱  
**理由:**

* 中国語「衰弱(shuāiruò)」は“衰え弱る、衰弱状態”全般を指す基本語。
* 日本語でも「衰弱」は同じ表記・意味。  
  **学習コスト:**
* 「衰(10画)」「弱(10画)」ともに初級～中級で習う常用字(ただし画数は中程度)。

### 16) letargi

**提案:** 昏睡  
**理由:**

* 中国語「昏睡(hūnshuì)」は“意識不明の状態・昏倒・深い眠り”を幅広く含む語。
* “極度の無気力・昏迷状態”など「レタルギー」に近いニュアンスとしても通じる。  
  **学習コスト:**
* 「昏(8画)」「睡(13画)」。やや多画だが常用範囲。

### 17) fiask

**提案:** 失败  
**理由:**

* 中国語「失败(shībài)」は“失敗する、負ける”を指す最も一般的な語。「大失败」で“大失敗”にもなる。
* 「fiasco」→“大失敗”を指すが、シンプルに「失败」で対応。  
  **学習コスト:**
* 「失(5画)」は後述の「perd(失う)」とも関連、再利用可能。
* 「败(7～8画)」も頻度は高め。

### 18) mis

**提案:** 误  
**理由:**

* 中国語の「误(wù)」は“誤り・間違い”に関わる文字(「错误」「误解」「误会」等)として頻出。
* Esperanto の接頭辞 “mis–”＝“誤～”のイメージに合致。  
  **学習コスト:**
* 7画で比較的少ない。後述「erar」にも再利用可能。

### 19) erar

**提案:** 误  
**理由:**

* 「mis(誤～)」と重複する意味領域。「错误」「误差」「误判」などで“間違える・誤る”を表す。
* 「mis」と同じく「误」1文字に集約し、必要に応じて上付き文字などで区別。  
  **学習コスト:**
* 新規文字の追加無し。

### 20) deficit

**提案:** 赤字  
**理由:**

* 中国語でも「赤字(chìzì)」は財政や商取引における“赤字・逆差”を指す一般用語。
* 日本語の「赤字」と同じ感覚で理解可能。  
  **学習コスト:**
* 「赤(7画)」「字(6画)」。いずれも基本的な常用字。

### 21) mank

**提案:** 缺  
**理由:**

* 中国語「缺(quē)」は“欠ける・不足する”の主な字(「缺少」「缺乏」など)。
* 日本語の「欠(ける)」とやや関連があり、漢字の成り立ちから「欠乏」と推定しやすい。  
  **学習コスト:**
* 10画だが、中国語で“足りない・欠如”全般に広く使うため汎用性高い。

### 22) perd

**提案:** 失  
**理由:**

* 中国語「失(shī)」は“失う、なくす”全般。「失败」「失去」「失落」などで頻出。
* 日本語の「失う」「失敗」などと同根で理解しやすい。  
  **学習コスト:**
* 5画と少なく、前述「失败(fiask)」で重複使用可能。

**pesimism / 悲观论 / 「悲观」は「悲観的」の意味だが、名詞として「～论」を付けて「悲观论」とすれば「悲観論」「ペシミズム」に近い表現になるため / 「悲」「观」「论」の3字はいずれも使用頻度が高く学習コストを抑えやすい**

1. **pesimist** / **悲观论者** / 上記「悲观论」に「者」を付けることで「悲観論者」を表現 / 「者」はよく使われる字で、他の「～者」系の語にも転用可能
2. **sentimental** / **感伤** / 中国語で「感伤(的)」は「感傷的」「センチメンタル」の意味に相当 / 「感」「伤」はどちらも比較的よく使われる字
3. **nostalgi** / **怀旧** / 「郷愁」や「懐旧」の意味に相当し、日本語話者にも比較的連想しやすい / 「怀」「旧」ともに常用字
4. **splen** / **忧郁** / 「憂鬱(病)」に相当。中国語で「忧郁」は「鬱々とした状態」「メランコリー」に近い / 下記melankoliと同じ表記にして学習コストを削減
5. **melankoli** / **忧郁** / 同上。「メランコリー」「憂うつ」全般を指すためsplenと同表記に統一 / 重複使用により偏旁の学習負担を低減
6. **kriz** / **危机** / 「危機」そのもの。2文字で意味がはっきり伝わる / 「危」「机」は他語にも使われやすい字
7. **panik** / **恐慌** / 「パニック」「恐慌」の意味。既に日本語でも「恐慌」は馴染みがある / 「恐」「慌」ともに比較的基本的な字
8. **embaras** / **尴尬** / 「当惑」「気まずさ」「困らせる」などに近い。やや「物理的に妨げる」ニュアンスは弱いが、最も広く使われる「恥ずかしい・困る」系の表現 / 2文字だがどちらも日中で比較的通じやすい
9. **aflikt** / **苦恼** / 「悩ませる」「苦悩させる」ニュアンス。中国語で「苦恼」は「苦しんで悩む」場面に広く用いる / 「苦」「恼」は他の苦痛・煩悩関連語にも転用可
10. **angor** / **苦闷** / 「苦悶」「やるせない苦しみ」の意味。苦恼と意味が近いが、やや内面的・鬱屈感を表す / 「苦」「闷」も使用頻度が高め
11. **malic** / **恶意** / 「悪意」の意味。2文字で「悪意」「敵意」に近い感覚が伝わる / 「恶」「意」はほかにも「恶化」「善意」など多数転用可能
12. **aĉ** / **劣** / エスペラントの接尾辞「～aĉ」(粗悪 / 低品質)を1文字化。日本語「劣る」、中国語「劣质」などと通じる / 画数も少なく、「差(ちがい)」より「品質の悪さ」のニュアンスが強い
13. **fi** / **卑鄙** / 「下劣な」「卑劣な」「唾棄すべき」「フィー!」と嫌悪を示す語。1文字で表すのは難しいので2文字熟語を採用 / 「卑」「鄙」やや画数は多いが、他の悪罵系でも使われる
14. **negativ** / **消极** / 「消極的」「ネガティブ」の意味 / 「消」「极」はともに学習頻度が高く、応用可能な場面も広い
15. **minus** / **减** / 「マイナス」「引き算」を指すときに用いられる動詞・記号的表現。負数(负)とも迷うが、「減算」を連想しやすい「减」を優先 / 画数はやや多いが、非常に基本的な字
16. **anarki** / **无政府** / 「無政府状態」「アナーキー」。後ろに「状态」等を補ってもよいが、最短で「无政府」でも通じる / 「无」「政」「府」いずれも汎用性が高い
17. **anakronism** / **时代错误** / 「時代錯誤」「アナクロニズム」を直訳的に表現 / 「时」「代」「错」「误」はどれも基本的かつ他用例も多い
18. **skism** / **分裂** / 「(団体の)分裂」「シスマ」。2文字で端的に「分裂」を表す / 「分」「裂」は他の単語（分析、破裂 等）とも関連性あり
19. **ĥaos** / **混沌** / 「カオス」「混沌」。主に「原初の混沌」「秩序のない状態」を表す / 次のkaosと同様に割り当て
20. **kaos** / **混沌** / ĥaosとほぼ同義。2つの語根を同じ表記に統一し、学習負担を軽減 / 「混」「沌」は「混乱」「混合」などにも応用可能
21. **kalendar** / **日历** / 「カレンダー」「暦」。2文字で非常に一般的 / 「日」「历」は「日常」「历法」など多くの語で再利用

**almanak / 年历 / 「年鑑」「暦書」に近い意味合い。日本語では「年」「暦」、中国語でも “年历” で「一年の暦」全般を指せる /**

* + **学習コスト**: すでに多くの語根で使いそうな「年」(6画)＋「历」(4画) の2文字。画数は比較的少なく、しかもどちらも頻出文字。

1. **kronik** / **年史** / 「年代記」は中国語で “编年史” が一般的だが、できるだけ画数や新出文字を抑えるため「年史」と簡略化 /
   * **学習コスト**: 「年」(既出)＋「史」(5画) の2文字。比較的単純。後述の年代学などとも「年」を共有可能。
2. **kronologi** / **年表** / 「年代学」「年代表」などの意味合い。中国語の “年表” は「年次経過の表」を指し、chronology に近い /
   * **学習コスト**: 「年」(既出)＋「表」(8画) で2文字。後述の時計(“表”) とも文字を共有できる。
3. **horloĝ** / **表** / 時計(特に腕時計)は中国語で “表”(手表) とも言う。鐘(钟)も候補だが、「表」の方が後述の年表と共有できる /
   * **学習コスト**: 1文字のみ(8画)。すでに **kronologi** で「表」を使っており、重複利用できる。
4. **akurat** / **准时** / 「時間厳守」「定刻どおり」の意。中国語で“准时”は「正確な時刻通りに、遅れずに」の意味で一般的 /
   * **学習コスト**: 「准」(10画) + 「时」(7画)。やや画数は合計多めだが、今後「时」は頻出見込みにつき再利用しやすい。
5. **temp** / **时间** / 「時間」の意。中国語で最も基本的な表現で “时间” を採用 /
   * **学習コスト**: 「时」(7画) + 「间」(7画)。どちらも頻出漢字で他の語根にも転用可能。
6. **hor** / **小时** / 「(1)時間、時刻」の意。中国語では「～時間」を “小时” と言うのが一般的 /
   * **学習コスト**: 「小」(3画) + 「时」(既出7画)。再利用の多い「时」を含むため、学習効率は比較的良い。
7. **zenit** / **天顶** / 「天頂」の意。中国語で “天顶” がそのまま対応 /
   * **学習コスト**: 「天」(4画) + 「顶」(8画)。いずれも比較的常用漢字。後述の「天」に関する語とも重複利用が見込める。
8. **eklips** / **蚀** / 「(天体)食、蝕」の意。日食は “日蚀”、月食は “月蚀” と表記。ここではコア要素の「蚀」を割当 /
   * **学習コスト**: 1文字(9画) だが、やや特殊な字かもしれない。ただし “日蚀”“月蚀” などで応用できる。
9. **vesper** / **晚** / 「夕方」の意。中国語で“晚上(夜)”“傍晚(夕方)”など複数あるが、単独の「晚」でも「晩(夕方寄り)」を連想可能 /
   * **学習コスト**: 1文字(11画)。やや画数は多めだが、「晚」は「晚上」「晚安」などで頻出するため学習しやすい。
10. **nokt** / **夜** / 「夜」の意。中国語でも「夜」は「夜晚」「深夜」などで使われる /
    * **学習コスト**: 1文字(8画) で比較的シンプル。
11. **maten** / **早** / 「朝」の意。中国語では“早晨”や“上午”など複数あるが、単独の「早」でも「朝」「早い時間帯」を示唆可能 /
    * **学習コスト**: 1文字(6画) と少ないうえ、挨拶「早!」などにも使えて直感的。
12. **krepusk** / **昏** / (朝夕の)薄明り、いわゆる「トワイライト」(黎明/黄昏)を含意。単字で朝夕両方を同時に表すのは難しいが、夕暮寄りの「昏」を採用 /
    * **学習コスト**: 1文字(8画)。厳密には「夕方〜夜」に寄る語感だが、ほかにシンプルな単字が乏しいため暫定対応。
13. **ĉiel** / **天** / 本来は「いろいろに(方法)」の副詞的用法なども含むが、語源として「天(天空)」のイメージも強い。ここでは「天」を割当 /
    * **学習コスト**: 1文字(4画) で非常にシンプル。すでに “天顶” 等にも登場し、再利用しやすい。
14. **ĉiel##** / **空** / 「空(そら)」のイメージ。C1には “天，天空” とあるが、14番との重複を避けてここでは「空」を採用 /
    * **学習コスト**: 1文字(8画)。日本語でも「空」、中国語でも「空气」「空间」などに通じ、概念を連想しやすい。
15. **spac** / **空间** / 「空間」の意。中国語では “空间” が一般的 /
    * **学習コスト**: 「空」(既出) + 「间」(既出)。どちらも他語根で用いた文字の組み合わせなので、追加学習は最小限。
16. **kosm** / **宇宙** / 「(天)宇宙、コスモ」の意。中国語でも “宇宙” が最も代表的 /
    * **学習コスト**: 「宇」(6画) + 「宙」(8画) で合計14画だが、次の “univers” でも同じ語を使い回せる。
17. **univers** / **宇宙** / 「全宇宙」の意。中国語でも“宇宙”で問題なく対応可能。**kosm** と区別せず同一割当 /
    * **学習コスト**: すでに “kosm” で使っており、追加の学習なし。
18. **raket** / **火箭** / 「ロケット」の意。中国語の一般的表現が “火箭” /
    * **学習コスト**: 「火」(4画) + 「箭」(→簡体も同形で15画ほど)。やや画数は多いが、もっとも定着した単語なので選択。
19. **stel** / **星** / 「星」の意。中国語でも “星(星星)” /
    * **学習コスト**: 1文字(9画)。後述の「惑星」「彗星」などでも「星」を再利用予定。
20. **planed** / **行星** / 「惑星」の意。中国語では “行星” /
    * **学習コスト**: 「行」(6画) + 「星」(既出9画) 。「星」が再利用できる。
21. **komet** / **彗星** / 「彗星」の意。中国語でも “彗星” が一般的 /
    * **学習コスト**: 「彗」(10〜11画) + 「星」(既出9画) 。「星」は既出なので新規は「彗」のみ。
22. **efemer / 短暂 /**
    * **選定理由:** 「短」(短い)＋「暂」(一時的・しばし)の組み合わせで「はかない／短命」のニュアンスを出す常用表現です。
    * **学習コスト:** 「短」「暂」はどちらも比較的目にする機会が多く(「短暂」「暂时」など)、2文字熟語とはいえ汎用性は高めです。
23. **lavang / 雪崩 /**
    * **選定理由:** 文字通り「雪」が「崩れる」(崩壊する)イメージの熟語で、日中両言語で馴染みがある表現です。
    * **学習コスト:** 「雪」「崩」ともに画数はやや多めですが、他の雪関連・崩壊関連にも転用しやすい常用字です。
24. **frivol / 轻浮 /**
    * **選定理由:** 「軽率で浮ついている」＝軽薄・軽浮を表す標準的な言い方です。
    * **学習コスト:** 「轻」は後述の「年轻」と共通で、重複使用により覚えやすくなります。「浮」も比較的頻出字です。
25. **inkognit / 匿名 /**
    * **選定理由:** 「匿名」は「お忍び」「身分を隠す」「名前を伏せる」に近いニュアンスを持つ常用語です。
    * **学習コスト:** 「名」は非常に基本的な字で、日常使用頻度も高く、学習コストは比較的低めです。
26. **et / 小 /**
    * **選定理由:** 「小さい」という接尾辞的な意味を漢字1文字で最もシンプルに表せます。
    * **学習コスト:** 最も基本的な漢字の一つで画数も少なく、学習負担が非常に小さいです。
27. **jun / 年轻 /**
    * **選定理由:** 「若い・若々しい」という意味の標準表現。「年轻人」(若者)などでも頻繁に用いられます。
    * **学習コスト:** 「轻」はすでにfrivol(軽浮)にも登場しており、重複使用による学習メリットがあります。
28. **knab / 男孩 /**
    * **選定理由:** 「男の子」「少年」を直接的に表すごく一般的な組み合わせです。
    * **学習コスト:** 「男」「孩」はいずれも日常語であり、「女孩」(女の子)など別の派生にも使えます。
29. **cigan / 吉普赛 /**
    * **選定理由:** 「ジプシー」の標準的な音訳表記で、中国語では最も広く通じる形です。
    * **学習コスト:** 3文字ですが、それぞれ「吉(きち)」「普(普遍)」「赛(競う)」はいずれも比較的よく出る字です。
30. **pigme / 侏儒 /**
    * **選定理由:** 「ピグミー」「小柄な人々」を示す際、漢語では「侏儒」が一般的用語です。
    * **学習コスト:** やや専門性の高い語ですが、2文字熟語としてまとまっており、中国語的には通用度が高いです。
31. **kanajl / 恶棍 /**

* **選定理由:** 「ごろつき」「ろくでなし」「悪党」などの意味合いを表す標準的な言葉です。
* **学習コスト:** 「恶」(悪)はネガティブな単語全般で転用でき、「棍」(棒)も他の表現で登場可能です。

1. **kramp / 夹钳 /**

* **選定理由:** 「かすがい」「クランプ」「挟む道具」を指す語。工具としての「クランプ」は「夹钳」が適切です。
* **学習コスト:** 「夹」も「钳」も道具類を表す場面で比較的よく使われるため、覚えておくと応用が利きます。

1. **pokal / 杯 /**

* **選定理由:** 酒杯・さかずき・ゴブレットなど、飲み物容器の総称として単字「杯」で分かりやすいです。
* **学習コスト:** 画数は多くなく、実生活でも頻出の非常に基本的な字です。

1. **pioĉ / 镐 /**

* **選定理由:** 「つるはし」を表す単字。少し専門的ですが、中国語では「镐」だけで通じます。
* **学習コスト:** やや珍しい字ではありますが、1文字で済むため割り当てとしてはシンプルです。

1. **ĉarnir / 合页 /**

* **選定理由:** 「ちょうつがい」「ヒンジ」全般を示す語。中国で一般的な呼称です。
* **学習コスト:** 「合」(合わせる)は日常的に使用、「页」(ページ)も画数少なめなので比較的学びやすいです。

1. **stup / 麻絮 /**

* **選定理由:** 「麻くず」「麻の繊維くず」のニュアンスとして、「麻絮」が分かりやすい表現です。
* **学習コスト:** 「麻」は使用範囲が広く、「絮」(わた・綿状のもの)も他で応用可能です。

1. **bek / 鸟嘴 /**

* **選定理由:** 「くちばし」を直訳すると「鳥の口」ということで「鸟嘴」が最もわかりやすいです。
* **学習コスト:** 「鸟」(鳥)＋「嘴」(くち)で意味が直感的。少し画数はありますが日常的にも見かけます。

1. **funel / 漏斗 /**

* **選定理由:** 「じょうご」の代表的な訳。「漏」は漏れる、「斗」は升・漏斗などで使われる字です。
* **学習コスト:** 2文字ながら比較的ポピュラーな単語で、辞書などにもよく載っています。

1. **lam / 跛 /**

* **選定理由:** 「足が不自由でびっこをひく」状態を単字で表すときに用いられます。
* **学習コスト:** 画数は10前後ですが、1文字で済むため割り当てとしてはコンパクトです。

1. **balbut / 口吃 /**

* **選定理由:** 「どもる」「吃音」の意。中国語では「口吃」が専門用語・一般用語両面で広く通じます。
* **学習コスト:** 「口」は非常に基本的な字、「吃」も「食べる」の意味でよく使われるため習得しやすいです。

1. **jug / 轭 /**

* **選定理由:** 「くびき」を指す単字。日常で頻出というほどではありませんが、中国語辞書等で標準的に載っています。
* **学習コスト:** やや専門用語的ですが、1文字で完結し画数もそこまで多くありません。

1. **rukt / 打嗝 /**

* **選定理由:** 「げっぷ」を指す口語表現。中国では「打嗝」はしゃっくりにも使いますが「ゲップ」の意味でも通じます。
* **学習コスト:** 「打」は動作全般で頻出、「嗝」は声・喉音関係で一貫性があります。

1. **ĝib / 驼峰 /**

* **選定理由:** 「こぶ」、特にラクダの背のこぶを表す標準的な表現。
* **学習コスト:** 「驼」(ラクダ)＋「峰」(峰・山頂)で構成され、意味が直感的にわかりやすい熟語です。

**tuber**

* + **块茎**
  + **選定理由**: 「塊状の茎」という生物学上の“イモ類（塊茎）”を指す標準的な簡体字表現。意味が直接的に伝わる。
  + **学習コスト**: 「块(塊)」「茎(莖)」はいずれも頻出度がそれなりに高く、生物関連表現で再利用しやすい。

1. **ĉifon**
   * **破布**
   * **選定理由**: 「ぼろ切れ」「ボロ布」を指す際によく使われる簡体字2文字。「破烂(破爛)」でもよいが、「布」のほうが日本語話者にも“布”と分かりやすい。
   * **学習コスト**: 「破」「布」は画数が比較的少なく、他の場面(破壊/布地 など)でも利用しやすい。
2. **kojn**
   * **楔**
   * **選定理由**: 「くさび」を表す最も直接的な1文字。標準的に“楔子(楔)”などと書く。
   * **学習コスト**: やや画数は多い(「木」+「契」)が、中国語で「楔」は専門用語として明確。他の割当候補が少ないため採用。
3. **dorn**
   * **刺**
   * **選定理由**: 「トゲ」「とげ状のもの」を表す最も簡潔な1文字。中国語でも「刺痛」「刺耳」のように広く使われ、意味がつかみやすい。
   * **学習コスト**: 画数は8画でそこそこだが、常用字かつ日本語の「刺」と同形なので学習コストは比較的低い。
4. **veruk**
   * **疣**
   * **選定理由**: 「いぼ」を意味する漢字として最も直接的。医学用語などでも使われる。
   * **学習コスト**: ややマイナーだが、1文字で「いぼ」と分かる点を優先。「疒」偏は他の疾患系単語にも応用可。
5. **roman**
   * **长篇**
   * **選定理由**: 「長編小説」を示す代表的な省略形。中国語で「长篇小说」の略としてもしばしば使われる。
   * **学習コスト**: 「长(長)」「篇」はいずれもよく使う字。文学関連で「短篇」「篇章」などにも再利用可能。
6. **novel**
   * **小说**
   * **選定理由**: 中国語で「小説」を意味する最も一般的な2文字。
   * **学習コスト**: 「小」「说(說)」はいずれも非常に基本的な字であり、別の語根にも転用しやすい。
7. **tragikomedi**
   * **悲喜剧**
   * **選定理由**: 「悲喜劇」を意味する標準的な組み合わせ。中国語圏でも「悲喜剧(悲喜劇)」という言い方が通じる。
   * **学習コスト**: 「悲」「喜」「剧(劇)」はいずれも演劇関係で再利用可能(「喜剧」「剧情」など)。
8. **dram**
   * **剧**
   * **選定理由**: 戯曲・演劇全般を広く指すときに用いられる代表的な単字(「戏(戲)」でも可だが、現代用語では「剧」使用が多い)。
   * **学習コスト**: 「剧」は「喜剧」「悲剧」など周辺語彙にも登場するため、習得の汎用性は高い。
9. **komedi**

* **喜剧**
* **選定理由**: 「喜劇」を意味する最も標準的な2文字表現。
* **学習コスト**: 「喜」「剧」の組み合わせは上記と同じく再利用しやすい。

1. **histori**

* **历史**
* **選定理由**: 「歴史」を表す中国語の基本語彙。
* **学習コスト**: 「历(曆)」「史」はいずれも非常に頻度が高い常用字。

1. **biografi**

* **传记**
* **選定理由**: 「伝記」に相当する中国語の標準表現。
* **学習コスト**: 「传(傳)」「记(記)」は「伝える」「記す」などの派生語でもよく使う。

1. **alegori**

* **寓言**
* **選定理由**: 「たとえ話」「寓意を含む物語」は中国語で「寓言」と表現することが多い。「allegory」にかなり近い。
* **学習コスト**: 「寓」「言」は「童话(童話)」「神话(神話)」などで使う「话／言」の字と部分的に関連。

1. **anekdot**

* **轶事**
* **選定理由**: 「逸話」「小ネタ」「ちょっとしたエピソード」の意に近い表現。中国語の辞書でも「轶事(逸事)」が標準。
* **学習コスト**: 「轶」はややマイナーだが、2文字の組み合わせとしては簡潔。「事」は他で再利用可。

1. **fabl**

* **寓言**
* **選定理由**: 「寓話」は中国語で「寓言」が定訳。実際「fable」は「寓言」と訳される。
* **学習コスト**: 13番「alegori」と同じ「寓言」を再利用し、学習コスト削減。

1. **fabel**

* **童话**
* **選定理由**: 「童話」を意味する中国語の一般的表現。「子ども向けの物語」のニュアンスが最も伝わる。
* **学習コスト**: 「童」「话(話)」はいずれも日常頻出。「神话(神話)」などと同じ「话」の字を再利用。

1. **legend**

* **传说**
* **選定理由**: 「伝説」を表す標準的な2文字語。「传奇(传奇)」という言い方もあるが、汎用的には「传说」が分かりやすい。
* **学習コスト**: 「传」や「说」は既出(「传记」「小说」)であり、学習コストを抑えやすい。

1. **mit**

* **神话**
* **選定理由**: 「神話」の代表的な中国語表現。「mito」の意味に最も近い。
* **学習コスト**: 「神」「话」で構成。「话」は童话(童話)や传说(伝説)などと同じ要素を再利用。

1. **sort**

* **命运**
* **選定理由**: 「運命」を指す際、中国語では「命运」が最も一般的。「运命」ではなく「命运」が自然な語順。
* **学習コスト**: 「命」「运」は他の文脈(「宿命」「运动」など)でも登場しやすく、有用度が高い。

1. **fatal**

* **宿命**
* **選定理由**: 日本語「宿命」のニュアンスに近い表現。「致命」(致死的)だと「致命傷」の含みが強く、やや意味がずれるため「宿命」を採用。
* **学習コスト**: 「宿」はやや画数が多いが、「命」と組み合わせて“逃れられない定め”をわかりやすく示せる。

1. **event**

* **事件**
* **選定理由**: 「事件」「出来事」の意味で最も一般的な2文字。「事变(事變)」もあるが、やや大ごとなニュアンスが強いため「事件」で統一。
* **学習コスト**: 「事」「件」は頻繁に使う字で、既出「轶事」などとも一部関連。

1. **epizod**

* **插曲**
* **選定理由**: 「エピソード(挿話)」「話の合間に挟まる小さな出来事」を指す中国語での常用表現。
* **学習コスト**: 「插」「曲」はそこまで頻度が高くはないが、2文字熟語として広く通じるので妥当と判断。

**eventual**

* **提案:** 可能
* **理由:** 「eventual」は「起こり得る」「条件次第で生じうる」といった意味合いがあり、中国語の「可能」と近いニュアンス（「もし〜なら起こり得る」）を表せます。日本語話者にも「可能」は馴染みが深い。
* **学習コスト:** 「可」「能」の2文字だが、どちらも頻用字で汎用性が高い。

1. **okaz**

* **提案:** 起
* **理由:** 「起」は日本語で「起(お)こる」、中国語でも「起(き)」は「立ち上がる／発生する」といった語感があり、「起こる」「生じる」を連想しやすい。
* **学習コスト:** 単文字。既存の「可能」などとも偏旁の重複はないが、画数は少なめで比較的学びやすい。

1. **akcident**

* **提案:** 事故
* **理由:** 中国語でも日本語でも「事故」は「思わぬ出来事（特に悪い意味）」を表す明確な語。エスペラントの「akcident」は「偶発的事故」「不測の事態」。
* **学習コスト:** 「事」「故」の2字はどちらも比較的常用で、意味も把握しやすい。

1. **ŝanc**

* **提案:** 机会
* **理由:** 「機会」「チャンス」を意味する標準的な中国語。日本語話者にとっても「機会」を連想しやすい。
* **学習コスト:** 「机」「会」はどちらもよく使う漢字(「机会」「会议」「机会を得る」など)。再利用もしやすい。

1. **hazard**

* **提案:** 风险
* **理由:** 「hazard」は「偶然」「危険」「リスク」のニュアンスを含む。中国語の「风险」は「リスク」「危険要素」として広く使われるため割り当て。
* **学習コスト:** 新たに「风」「险」2文字だが、どちらも中国語の日常語彙で使用頻度が高い。

1. **atavism**

* **提案:** 返祖
* **理由:** 中国語で「返祖现象」は「隔世遺伝・先祖返り」の意味で通じる。熟語のうち、最小限「返祖」2文字でまとまる。
* **学習コスト:** 「返」「祖」ともにそこそこ使われる字(「返回」「祖先」など)。

1. **genealogi**

* **提案:** 家谱
* **理由:** 中国語で「家谱」は家系図・系譜を意味する。日本語の「家系図」に近く、直感的に連想可能。
* **学習コスト:** 「家」「谱」2文字。ただし「家」は今後他語根(「国家」など)でも再利用しやすい。

1. **etnografi**

* **提案:** 民族志
* **理由:** 「民族志」は「ethnography」の定訳に近く、専門書タイトルなどに見られる表現。
* **学習コスト:** 「民」「族」「志」の3文字だが、いずれも後続の語根でも再利用する可能性が高い。

1. **ras**

* **提案:** 人种
* **理由:** 中国語で「人种」は人類学や生物学で「人種」の意味。エスペラント「ras」は「人種」「品種」。
* **学習コスト:** 「人」「种」は今後ほかの人関連語彙でも再利用できる。

1. **gent**

* **提案:** 民族
* **理由:** 「gent」は氏族・部族・民族等を指す語根。中国語で「民族」は「ethnic group」「人々の集団」。
* **学習コスト:** 「民」「族」はいずれも既出(8で導入)なので追加負担ゼロ。

1. **etn**

* **提案:** 民族
* **理由:** 「etn」は「ethnic、民族(人種)」を表す語根。先の「gent」と同じく「民族」で対応可能。
* **学習コスト:** 同じ「民族」を再利用。

1. **human**

* **提案:** 人道
* **理由:** 「human」は「人間的な」「ヒューマニズム的な」「人道的な」という含意があり、中国語の「人道」は「人道主義」「人間らしい思いやり」を示唆する。
* **学習コスト:** 既存の「人」に加え、「道」が新規だが汎用度が高い。

1. **ul**

* **提案:** 人
* **理由:** エスペラントの -ul は「～の特徴をもつ人」を示す接尾辞なので、中国語の最も基本的な「人」を再利用。「家伙(やつ)」的な感覚にも近い。
* **学習コスト:** すでに「人」は複数回登場しており追加負担なし。

1. **oni**

* **提案:** 人们
* **理由:** エスペラント「oni」は不特定多数の人々(英語でいう one/they)。中国語で「人们」は「人々」を指すのに適切。
* **学習コスト:** 既存の「人」に加え、新たに「们」を一つ導入。

1. **hom**

* **提案:** 人
* **理由:** 「hom」は「人間、人類」を表す最も基本的語根。したがって中国語の「人」をそのまま割り当てが自然。
* **学習コスト:** すでに「人」は既出。

1. **person**

* **提案:** 人
* **理由:** 「person」は「個人」「人」を表し、既存の「人」を重ねて用いれば区別も可能(上付き文字などで区別予定)。
* **学習コスト:** 既存の「人」再利用。

1. **pleb**

* **提案:** 平民
* **理由:** 「pleb」は歴史的な「平民階級」(古代ローマのプレブスなど)の語根。中国語の「平民」は日本語「平民」と同じく一般民衆を指す。
* **学習コスト:** 既存の「民」に加え、「平」が新規。

1. **civil**

* **提案:** 公民
* **理由:** 「civil」は「市民的／民事の／国家の構成員としての」という含みがあり、中国語の「公民」が近い（法律上の市民・国民的ニュアンス）。
* **学習コスト:** 既存の「民」に加え、「公」が新規。

1. **naci**

* **提案:** 国民
* **理由:** エスペラント「nacio」は「国民」「nation」を意味。中国語では「国民」が最もストレートかつ日本語圏にも通じる。
* **学習コスト:** 「国」が新規、「民」は既出。

1. **popol**

* **提案:** 人民
* **理由:** 「popol」は「人民」「大衆」を指す。中国語の「人民」は日本語でも同形。
* **学習コスト:** 「人」「民」両方既出。

1. **civilizaci**

* **提案:** 文明
* **理由:** 「civilization」を意味し、中国語でも日本語でも対応する「文明」で直感的に分かりやすい。
* **学習コスト:** 「文」「明」の2字はいずれも常用で再利用可能性もある。

1. **social**

* **提案:** 社会
* **理由:** 「社会的な」「共同体に属する」という意味なので、中国語「社会」が最も定訳。日本語圏にも違和感なく伝わる。
* **学習コスト:** 既存の「会」を再利用し、新たに「社」を1字追加。

**soci**

* + **提案:** 社
  + **理由:** 「社会」を指す簡体字の代表格として「社」は広く認識されており、日本語にも「社会」「会社」などで馴染みがある。
  + **学習コスト:** 画数(7画)は比較的少なく、今後も「社会」「会社」「神社(日本語圏)」など連想しやすいため有用。

1. **prolet**
   * **提案:** 无产
   * **理由:** 中国語でプロレタリア(無産階級)を「无产阶级」(无产者)と呼ぶことに由来。「无」は日本語の「無」に相当。
   * **学習コスト:** 2文字だが、いずれも画数は多すぎず、日本人にも「無産階級」という言い方で馴染みがある程度イメージしやすい。
2. **proletari**
   * **提案:** 无产
   * **理由:** 上記prolet(プロレタリア)と同義。同じ文字で一括りにしておき、後で上付き文字などで区別可能にする。
   * **学習コスト:** 既出の「无」「产」を使い回すので追加負担が少ない。
3. **nomad**
   * **提案:** 游牧
   * **理由:** 「遊牧民」の要素を端的に表す。日本語の「遊牧」に相当し、中国語でも「游牧」は「nomadic」の意味。
   * **学習コスト:** 「游」は簡体字(日本語の「遊」に相当)、「牧」は5画と比較的少なく、合わせて覚えやすい。
4. **koloni**
   * **提案:** 殖民
   * **理由:** 中国語で植民地・植民は「殖民(地)」と書くのが一般的。「殖」自体はやや画数が多めだが、意味がはっきりしている。
   * **学習コスト:** 二文字表記で明快。日本語の「植民地(殖民地)」とも対応が取りやすい。
5. **indiĝen**
   * **提案:** 土著
   * **理由:** 中国語で「土著」は土着民・先住民を指す語。日本語の「土着」「原住民」などともイメージが近い。
   * **学習コスト:** 2文字合計の画数も大き過ぎず、比較的シンプル。
6. **patriot**
   * **提案:** 爱国
   * **理由:** 「愛国(者)」の意味を簡潔に示す組み合わせ。中国語でも「爱国者」、日本語でも「愛国」の意味が明確。
   * **学習コスト:** 2文字とも頻出であり、画数もそこまで多くない。
7. **ŝovinism**
   * **提案:** 沙文
   * **理由:** 中国語では「沙文主义」で「ショーヴィニズム」を指す。「沙文」は略称として通じる場合がある。
   * **学習コスト:** 外来概念だが「沙」「文」はいずれも常用で、すでに中国語圏でも定着している。
8. **ŝovinist**
   * **提案:** 沙文者
   * **理由:** 本来は「沙文主义者」が正式だが、短縮しても意味は通じやすい。「者」で「人」を示す。
   * **学習コスト:** 既出の「沙文」に「者」を付けるだけなので追加負担は小さい。
9. **nepotism**
   * **提案:** 裙带关系
   * **理由:** 中国語の決まり文句で、「縁者びいき」を示す表現として一般的(「裙带关系」＝血縁・姻戚などのコネ重視)。
   * **学習コスト:** 4文字とやや長いが、慣用表現なので一塊として覚えやすい。
10. **filantrop**
    * **提案:** 慈善家
    * **理由:** 「博愛主義者」「慈善家」として、中国語では「慈善家」がもっとも自然。
    * **学習コスト:** 「慈」「善」「家」3文字だが、どれも比較的よく使われる語。
11. **filantropi**
    * **提案:** 博爱
    * **理由:** 「博愛」をそのまま簡体字で書くと「博爱」。中国語でも「普遍の愛」を指し、フィランソロピー的文脈で使われることがある。
    * **学習コスト:** 2文字で比較的覚えやすい。日本語話者にも意味が取りやすい。
12. **panteism**
    * **提案:** 泛神论
    * **理由:** 中国語で「汎神論」に相当する標準的な表記。
    * **学習コスト:** 合計3文字だが、神・论はすでに他でも見かける可能性が高い(論/论)。
13. **panteist**
    * **提案:** 泛神论者
    * **理由:** 「汎神論者」を表すときは「泛神论」に「者」を付けるのが自然。
    * **学習コスト:** 既存の「泛神论」に「者」を足すだけなので把握しやすい。
14. **ego/ist##**
    * **提案:** 利己
    * **理由:** 中国語で「egoist」は「利己主义者」だが、短縮形として「利己」「利己者」でも文脈上通じる。
    * **学習コスト:** 2文字のみでシンプル。「利」は利益、「己」は自分を示し、日本語圏でも類推可能。
15. **optimism**
    * **提案:** 乐观主义
    * **理由:** 中国語で「楽天主義」を表す決まり文句。「乐观主义」。
    * **学習コスト:** やや長め(4文字)だが、中国語では定訳であり分かりやすい。
16. **optimist**
    * **提案:** 乐观主义者
    * **理由:** 「楽天主義者」を指す標準的表現。「乐观主义」に「者」を付ければよい。
    * **学習コスト:** すでに出た「乐观主义」に「者」を加えるだけなので追加負担は低い。
17. **oligarki**
    * **提案:** 寡头政治
    * **理由:** 「寡頭政治」の中国語表記として一般的な「寡头政治」。
    * **学習コスト:** 4文字だが、政治関連語としては代表的。
18. **oligarĥi**
    * **提案:** 寡头政治
    * **理由:** 上と同義(綴りの違いはエスペラント語上の派生形)。同じ表記で問題ない。
    * **学習コスト:** 既出の4文字を再利用するのみ。
19. **oligark**
    * **提案:** 寡头
    * **理由:** 「寡頭」を指す場合、中国語では「寡头」が人(オリガルヒ)を指す用法としても通じる。
    * **学習コスト:** 既に出た「寡」「头」を組み合わせるのみ。
20. **oligarĥ**
    * **提案:** 寡头
    * **理由:** 上記と同じく、オリガルヒ個人の意味で使える。
    * **学習コスト:** 繰り返しとなるので追加負担はない。
21. **plutokrat**
    * **提案:** 财阀
    * **理由:** 中国語で「財閥」「金権家」に相当する語として「财阀」が広く使われる。
    * **学習コスト:** 2文字で比較的わかりやすい。「财」は金銭・財産を示し、「阀」は派閥・特権階級のイメージ。

**plutokrati**

* + **提案**: 富政
  + **選定理由**:
    - 「富」は「富裕・財力」「政」は「政治」を表し、「財力による支配」を示唆している。
    - 「plutocracy(金権政治)」という概念を端的に表すための造語的組み合わせ。
  + **学習コスト**:
    - 「富」(12画)と「政」(9画)はいずれも比較的よく使われる。
    - 今後「政」を「～政治」「～制」など類似の語彙にも流用しやすい。

1. **demagog**
   * **提案**: 煽动者
   * **選定理由**:
     + 「煽动」は「煽り立てる・扇動する」という意味で、中国語でも「煽动(扇動)」は一般的。
     + 「者」は「～する人」を指す接尾辞。
   * **学習コスト**:
     + 「煽」「动」「者」は初出だが、「动(動)」「者」は今後も「活動家」「論者」などで再利用可能。
     + 「煽」はやや画数が多い(13画)が、「扇(おうぎ)＋火偏」で覚えられなくはない。
2. **demokrat**
   * **提案**: 民主者
   * **選定理由**:
     + 「民主」は「democracy(民主)」を表し、「者」は「人」を表す接尾辞。
     + 「demokrat(民主主義者)」に対応する簡明な組み合わせ。
   * **学習コスト**:
     + 「民」と「主」は非常に頻度が高く、既に(4)番などで繰り返し出現予定。
3. **demokrati**
   * **提案**: 民主
   * **選定理由**:
     + 中国語で「民主(民主)」は非常に一般的な訳。
     + 「democracy(民主制・民主政治)」の最短かつ最も認知度が高い表現。
   * **学習コスト**:
     + 「民」「主」は画数も少なく、広範囲で用いられる。
4. **konservativ**
   * **提案**: 保守
   * **選定理由**:
     + 中国語でも日本語でも「保守」が「保守的」「保守派」を意味する定着した言い方。
     + 「konservativ(保守派の)」に直結する。
   * **学習コスト**:
     + 「保」「守」いずれも画数中程度だが、頻出度は高い。
     + 後述の「保护国(protektorat)」などで「保」を再利用。
5. **protektorat**
   * **提案**: 保护国
   * **選定理由**:
     + 中国語で「保護国」は「保护国」と書く。最も分かりやすい保護関係の表現。
   * **学習コスト**:
     + 「保」は既出(保守)、「护」は手偏＋戸で比較的覚えやすい。
     + 「国」は画数も少なく、最頻出漢字の一つ。
6. **diktator**
   * **提案**: 独裁者
   * **選定理由**:
     + 「独裁者」は「dictator(独裁者)」の直訳に近く、中国語でも定着表現。
   * **学習コスト**:
     + 「独」(独立/独自) + 「裁」(裁く) + 「者」。
     + やや画数は多いが、政治関連語で頻繁に登場するため認知度は高い。
7. **tiran**
   * **提案**: 暴君
   * **選定理由**:
     + 中国語・日本語で「暴君」は「tyrant(専制君主/暴君)」の基本訳。
   * **学習コスト**:
     + 「暴」は(暴力, 暴動などで)頻出、「君」も「君主」などで再利用可。
8. **despot**
   * **提案**: 专制君
   * **選定理由**:
     + 「despot(専制君主/暴君)」を表す際、中国語では「专制君主」がやや長いが最も無難。
     + 短縮して「专制君」としたが、「専制の君主」という含みを持たせている。
   * **学習コスト**:
     + 「专」(専の簡体字)・「制」・「君」はいずれも他語根で登場済み/登場見込み(後述の「君主制」「专制」など)なので再利用しやすい。
9. **aŭtokrat**

* **提案**: 专制者
* **選定理由**:
  + 「aŭtokrat(autocrat=専制君主/独裁者)」。ここでは「专制 + 者」によって「専制を行う人」という意味合い。
* **学習コスト**:
  + 「专」「制」「者」はいずれも既出もしくは関連語で使用済み。

1. **imperi**

* **提案**: 帝国
* **選定理由**:
  + 「帝国」は「empire」の最も直接的な漢語。
  + 日本語でも中国語でも、帝国＝帝国。
* **学習コスト**:
  + 「帝」「国」は政治・歴史関連で頻用されるため、再利用可能性が高い。

1. **imperialism**

* **提案**: 帝国主义
* **選定理由**:
  + 「帝国主义」は中国語で「imperialism(帝国主義)」を意味する標準的な表現。
* **学習コスト**:
  + 「主义」は「主」(既出) + 「义」(新出)だが、他の「～主义(～主義)」にも転用可能で汎用性が高い。

1. **monarĥi**

* **提案**: 君主制
* **選定理由**:
  + 「monarchy(君主制)」の標準訳。
  + 「monarĥi」は「君主政治を行う」等を含むが、最も近い制度名は「君主制」。
* **学習コスト**:
  + 「君」「主」「制」は既出(または近隣語彙で登場)のため、学習負担は相対的に低い。

1. **monarki**

* **提案**: 君主制
* **選定理由**:
  + 上記(13)と同義語(スペリング違い)のため同じ割当。
* **学習コスト**:
  + (13)と同一のため追加負担なし。

1. **aŭtokrati**

* **提案**: 专制
* **選定理由**:
  + 「autocracy(専制政治)」に対応。中国語でも「专制」(専制)は広く使われる。
* **学習コスト**:
  + 「专」「制」はすでに(9)や(10)などで使用済み。

1. **teokrati**

* **提案**: 神政
* **選定理由**:
  + 「theocracy(神権政治)」。中国語では「神权政治」などと訳されるが、より短く「神政」と造語的にまとめた。
  + 「神 + 政」で「神による政治」＝神権政治を表現。
* **学習コスト**:
  + 「神」(新出)、「政」(既出)。2文字で比較的シンプル。

1. **aristokrati**

* **提案**: 贵族制
* **選定理由**:
  + 「aristocracy(貴族政治)」は中国語で「贵族统治」「贵族制度」等があるが、ここでは「贵族制」と簡潔化。
* **学習コスト**:
  + 「贵」(简体字：貴の簡体形) + 「族」 + 「制」。やや文字数は多いが、意味は明確。
  + 「制」は既出、他も常用漢字で再利用余地あり。

1. **ateism**

* **提案**: 无神论
* **選定理由**:
  + 中国語・日本語ともに「無神論」として定着。簡体字で「无神论」。
  + 「～論」形が「～ism」のニュアンスに近い。
* **学習コスト**:
  + 「无」「神」「论」。うち「神」は(16)で既出、「论」は「議論」の「論」簡体。汎用性あり。

1. **ateist**

* **提案**: 无神论者
* **選定理由**:
  + 「～者」(～する人)を付けることで「無神論者」=「atheist」。
* **学習コスト**:
  + 「无神论」は既出、「者」も(2)(3)(7)(10)などで登場済み。

1. **nihilism**

* **提案**: 虚无主义
* **選定理由**:
  + 中国語では「虚无主义」が「ニヒリズム」のよくある訳語。
  + 「虚无」(虚無) + 「主义」(～主義)。
* **学習コスト**:
  + 「虚」「无」「主」「义」は既出or準既出。「虚」だけ新顔だが、意味は「からっぽ、むなしい」。

1. **nihilist**

* **提案**: 虚无主义者
* **選定理由**:
  + 上記(20)に「者」(人)を足した形。
* **学習コスト**:
  + 「虚无主义」は(20)と同じ、「者」も何度も登場済み。

1. **racional/ism##**

* **提案**: 理性主义
* **選定理由**:
  + 「rationalism(合理主義/理性主義)」に最も近い標準的な中国語は「理性主义」。
  + 「主义」で「～主義」を示し、「理性」で“rational”を表す。
* **学習コスト**:
  + 「理」「性」「主」「义」。うち「主」「义」は既出、「理」「性」も一般的な文字で他でも再利用しやすい。

**racional/ist##**

* + **提案漢字**: 理性主义者
  + **選定理由**: 「racional(合理的・理性的)」＋「-ist(主義者)」に対応する標準的な中国語表現が「理性主义者」。実際の中国語でも「理性主义」(理性主義) に「者」を付けて「理性主义者」と表現される。
  + **学習コスト**:
    - 使用漢字は「理」「性」「主」「义」「者」の5種。いずれも頻度が高く、他の多くの語根(〜主义/〜主义者)にも転用可能なので、学習効率は比較的高い。

1. **pacifism**
   * **提案漢字**: 和平主义
   * **選定理由**: 「pacifism(平和主義)」の直訳に相当する一般的な用語が「和平主义」。
   * **学習コスト**:
     + 「和」「平」「主」「义」の4種漢字。すべて非常に常用度が高く、「主义」は他の「〜ism」系にも流用できる。
2. **pacifist**
   * **提案漢字**: 和平主义者
   * **選定理由**: 「pacifist(平和主義者)」は「和平主义」に「者」を付けて表現するのが自然。
   * **学習コスト**:
     + 前項(和平主义)に「者」を追加したのみなので、学習負担はほぼ増えず「者」は他の「〜主义者」でも再利用が可能。
3. **meĥanism**
   * **提案漢字**: 机制
   * **選定理由**: 「mechanism」の中国語訳として最も一般的・コンパクトなのが「机制」。
   * **学習コスト**:
     + 「机」「制」の2文字。どちらも日中で使用頻度が高く、後続の類似用語にも転用可能。
4. **mekanism**
   * **提案漢字**: 机制
   * **選定理由**: 4番とほぼ同義のため同一表現「机制」を再利用。
   * **学習コスト**:
     + 既出の2文字だけを使うことで、新たな学習負荷を増やさない。
5. **kemi**
   * **提案漢字**: 化学
   * **選定理由**: 「chemistry」に対応する最も標準的な語。
   * **学習コスト**:
     + 「化」「学」は非常に基本的な漢字・偏旁。今後、科学系語彙にも転用しやすい。
6. **ĥemi**
   * **提案漢字**: 化学
   * **選定理由**: 「kemi」と同義(両者とも“化学”の意)。重複を避けず、あえて同じ表現で十分。
   * **学習コスト**:
     + 既に出現済みの「化学」を再利用することで、新たな負担なし。
7. **dinamik**
   * **提案漢字**: 动力学
   * **選定理由**: 「dinamiko(dynamics/力学のうち“動力学”寄り)」を表す標準訳が「动力学」。
   * **学習コスト**:
     + 「动」「力」「学」の3文字。いずれも高頻度字で、後述の力学系などで部品を再利用できる。
8. **meĥanik**
   * **提案漢字**: 力学
   * **選定理由**: 「mechanics(力学)」として、中国語では「力学」が最もコンパクト。
   * **学習コスト**:
     + 「力」「学」はすでに8番で登場済み(動力学)。さらなる追加学習は不要。
9. **mekanik**
   * **提案漢字**: 力学
   * **選定理由**: 「meĥanik」と同じく「mechanics」に近い意味なので再利用。
   * **学習コスト**:
     + 既出の「力」「学」をそのまま使うため、負担増なし。
10. **faksimil**
    * **提案漢字**: 传真
    * **選定理由**: 「facsimile(ファクシミリ)」の中国語表現は「传真」が一般的。
    * **学習コスト**:
      + 「传」「真」はどちらも比較的基本的で、多用途(例: 传达、真実など)に使いやすい。
11. **feminism**
    * **提案漢字**: 女权主义
    * **選定理由**: 「feminism(フェミニズム)」の中国語訳として標準的。
    * **学習コスト**:
      + 「女」「权」「主」「义」の4文字。すべて先ほどの「主义」関連で重複が見込める。
      + 「女」や「权」は日常語彙にもよく出現。
12. **feminist**
    * **提案漢字**: 女权主义者
    * **選定理由**: 「feminist(フェミニスト)」は「女权主义」+「者」で表す。
    * **学習コスト**:
      + いずれも既出の漢字の組み合わせに「者」を足すだけなので、追加負担は最小限。
13. **maksim**
    * **提案漢字**: 格言
    * **選定理由**: 「maxim(格言・金言)」に相当する最も一般的な2文字熟語が「格言」。
    * **学習コスト**:
      + 「格」「言」はいずれも比較的頻出度が高く、他語根でも利用しやすい漢字。
14. **etim**
    * **提案漢字**: 词源
    * **選定理由**: 「etymon(語源・原義)」に対応する簡潔な中国語が「词源」。
    * **学習コスト**:
      + 「词」「源」はやや画数が多めだが、語学関連の単語に多用されるため学習価値は高い。
15. **prism**
    * **提案漢字**: 棱镜
    * **選定理由**: 「プリズム」＝「棱镜」は物理光学での標準用語。
    * **学習コスト**:
      + 「棱」「镜」はそこそこ画数があるが、専門用語としてはもっとも通用度が高い表現。
16. **gotik**
    * **提案漢字**: 哥特式
    * **選定理由**: 「ゴシック様式」を表す中国語は「哥特式」が定番(建築分野など)。
    * **学習コスト**:
      + 「哥」「特」「式」の3文字は日常的な漢字だが、やや画数は多め。ただし他の外来文化表現にも転用しやすい。
17. **grotesk**
    * **提案漢字**: 怪诞
    * **選定理由**: 「grotesque(グロテスクな、怪奇な)」の訳語として「怪诞」が簡潔で一般的。
    * **学習コスト**:
      + 「怪」「诞」は日常でそこそこ見かける字(「诞」は“诞生”など)。転用可能性もある。
18. **plastik**
    * **提案漢字**: 造型艺术
    * **選定理由**: エスペラントの「plastik」は「造形術・造型芸術」という意味合いが近い。中国語では「造型艺术」または「塑造术」等が該当。比較的通用度の高い「造型艺术」を採用。
    * **学習コスト**:
      + 「造」「型」「艺」「术」の4文字はいずれも頻度が高め(“艺术”=芸術)。ただし合わせると画数は多め。
19. **formul**
    * **提案漢字**: 公式
    * **選定理由**: 「formula(公式・分子式)」としては「公式」が簡潔かつ標準的。
    * **学習コスト**:
      + 「公」「式」はどちらも既出または基本字(“公式”“方式”など)。再利用頻度が高い。
20. **form**
    * **提案漢字**: 形
    * **選定理由**: 「form(形・形状)」を最もシンプルに示すのが「形」。
    * **学習コスト**:
      + 単独1文字なので非常に学習コストが低い。既出の「式」「图形」などにも含まれる偏旁(“彡”/“开口偏”は関係ないが、形の概念として連想しやすい)。
21. **figur**
    * **提案漢字**: 图形
    * **選定理由**: 「figure(姿・図形・イメージ)」に当たる中国語としては「图形」が広く使われる。
    * **学習コスト**:
      + 「图」は地図・図面などで頻出し、「形」は既に他項目(21など)で登場。再利用性が高い。
22. **politik** / **政** / 「政治」を表す代表的な単字 / 画数が比較的少なく「政府」「政治」などを連想しやすい
23. **taktik** / **战术** / 「戦術」を意味する標準的表現 / 「战(戰)」は軍事・闘争に関わる語根へ使い回し可能、「术」は画数少なく汎用性も比較的高い
24. **strategi** / **战略** / 「戦略」を意味する標準的表現 / 「战」はすでに登場、「略」は計略・概要など幅広く使われる字
25. **statistik** / **统计** / 「統計」を意味する最も一般的な語 / 「统」は糸偏(纟)で「統合」を連想しやすく、「计」は「計画・数える」などでも使われる
26. **financ** / **财政** / 「財政」「財務」を意味する標準的表現 / 「财」は金銭に関わる語に再利用可能、「政」はすでに #1（politik）で使用済み
27. **ekonomi** / **经济** / 「経済」を意味する標準的表現 / 「经」と「济」はどちらも非常に使用頻度が高く、学習コストが比較的低い
28. **scienc** / **科学** / 「科学」を意味する最も一般的な表現 / 「科」は学問・部門の意味を持ち、「学」は後述の語根にも頻繁に登場しうる
29. **erudici** / **博学** / 「博学」「幅広い知識」を表す熟語 / 「博」は「広い」「多い」を示唆し、「学」は #7 で既出
30. **skolastik** / **经院** / 中国語で「スコラ哲学」は「经院哲学」と呼ばれるため、その略 / 「经」は #6 で既出、「院」は施設・学術関連で他語根にも応用可能
31. **filozof** / **哲学家** / 「哲学者」を意味する最も一般的な表現 / 「哲学＋家」で専門家を表現しやすく、「哲」「学」は下記 #11 とも関連
32. **filozofi** / **哲学** / 「哲学」を意味する最も一般的な表現 / #10 の「哲学家」と合わせて「哲」「学」を再利用
33. **pedant** / **学究** / 「学者ぶった人」「衒学的な人」を指すやや文語的表現 / 「学」は再利用、「究」も比較的画数が少なく“深く探求する”含意がある
34. **metafizik** / **形而上学** / 「形而上学」を意味する定番表現 / 「形」「而」「上」「学」はいずれも常用字で、哲学・抽象概念との関連が分かりやすい
35. **katekiz** / **教理** / [宗]問答で教理を教える意を含むため / 「教」は宗教関連で他の語根にも転用しやすく、「理」も常用字
36. **kateĥiz** / **教理** / #14 と同義語根のため同じ熟語を流用 / 上記と同様
37. **stoik** / **坚忍** / ストア派の「堅忍」「動じない」気質を表現するのに適切 / 「坚」は“硬い・固い”、「忍」は“耐える”などで比較的意味連想しやすい
38. **dogm** / **教条** / 「教条・ドグマ」を意味する語 / 「教」は #14 で既出、「条」は画数が少なめで“条文・法条”等で使われる
39. **ism** / **主义** / 接尾辞的に「主義」を表す最も一般的な表現 / 「主」「义」いずれも頻出のため他の-ism系にも転用しやすい
40. **doktrin** / **学说** / 「学説」「ドクトリン」を意味 / 「学」は再利用、「说」は“話す・説明する”を含み教説・理論を想起させやすい
41. **stenografi** / **速记** / 「速記」を意味する最も一般的な表現 / 「速」は移動・スピード関連にも転用可、「记」は“記す”で意味を連想しやすい
42. **sintaks** / **句法** / 文の構文論「シンタックス」を意味 / 「句」は文節・文句を表し、「法」は規則・方法として他にも応用可能
43. **gramatik** / **语法** / 「文法」を意味する最も一般的な表現 / 「语」は言語全般に使われ、#21 の「法」を再利用

**retorik**

* + **提案漢字**: 修辞
  + **選定理由**: 中国語で「修辞(学)」はレトリック・修辞法を指す語として通用し、日本語でも「修辞」といえば文体的技巧の意味で通じる。
  + **学習コスト**: 「修」「辞」の2文字を新たに覚える必要はあるが、いずれも比較的使用頻度が高く、かつ日本語話者・中国語話者ともに意味を連想しやすい。

1. **ortografi**
   * **提案漢字**: 正字
   * **選定理由**: 「正字法(zhèngzìfǎ)」は“正しいつづり(正書法)”を指す標準的な訳語。2文字で簡潔にまとめるため「正字」とした。
   * **学習コスト**: 「正」と「字」はともに基本的で頻度も高く、すでに他の語根でも再利用可能性が高い。
2. **interpunkci**
   * **提案漢字**: 标点
   * **選定理由**: 中国語における標準的な「句読点・約物」の総称であり、日本語でも「句読法」と対応しやすい。「标点符号」とすることも多いが、簡潔に2文字に圧縮。
   * **学習コスト**: 「标」は多少画数がある(8画)が頻出字。「点」は日常でも非常に頻度が高い。
3. **stil**
   * **提案漢字**: 文体
   * **選定理由**: 「文体」は文章・文芸などのスタイルを示す日本語由来の用語で、中国語でも「文体(wéntǐ)」という表現があり、意味を推測しやすい。
   * **学習コスト**: 「文」はごく基本字、「体」も頻用字。ほかの語根でも使い回しが期待できる。
4. **ideografi**
   * **提案漢字**: 表意
   * **選定理由**: 本来「表意文字(系統)」を指すが、4文字(表意文字)だとやや長いので2文字に簡略化。「表意」で“意味を直接示す”ことを連想可能。
   * **学習コスト**: 「表」は頻度が高め、「意」は「意味」「意思」などで学習価値が高い。今後の熟語でも転用しやすい。
5. **liter**
   * **提案漢字**: 字母
   * **選定理由**: 中国語で「字母(zìmǔ)」は“アルファベット文字”を指す。日本語の「文字」と完全に一致はしないが、アルファベット1文字を意味する語として定着している。
   * **学習コスト**: 「字」は既出(ortografiの「正字」など)、「母」は画数こそ9画だが、母音・母国などでも使用し汎用性は低くない。
6. **alfabet**
   * **提案漢字**: 字母表
   * **選定理由**: 中国語でアルファベット全体を指す代表的な呼称が「字母表(zìmǔbiǎo)」。すでに「字母」「表意」で「字」「母」「表」を登場させており、追加の新字は最小限に。
   * **学習コスト**: 既出の「字」「母」「表」を組み合わせるだけ。総合的に画数は増えるが、熟語としては標準的で分かりやすい。
7. **aforism**
   * **提案漢字**: 格言
   * **選定理由**: 中国語でも日本語でも「格言(géyán)」は警句・箴言などの意味をカバーし、短く要点をつく言葉(aphorism)として一般的。
   * **学習コスト**: 「格」は「風格」「性格」などでも使われ頻度は高め、「言」は「言語」「発言」など非常に基本的。
8. **epigram**
   * **提案漢字**: 格言
   * **選定理由**: 「epigram」「aforism」はほぼ同義であり、2つを別の単語にするより同じ熟語を当てることで学習コストを減らす。
   * **学習コスト**: 8番と同一熟語で新規字なし。
9. **siluet**

* **提案漢字**: 剪影
* **選定理由**: 中国語では「剪影(jiǎnyǐng)」が“影絵”や“シルエット”の意味を表す慣用的表現。「轮廓」(アウトライン)よりも“シルエット”的ニュアンスが強い。
* **学習コスト**: 「剪」は日常語ではやや少なめだが、「剪刀」などで学習機会あり。「影」は「映画」「摄影」などとも関連し汎用性はある。

1. **spektr**

* **提案漢字**: 光谱
* **選定理由**: 中国語で「光谱(guāngpǔ)」は物理のスペクトル(波長の分布)を指す基本用語。「频谱」もあるが「光谱」のほうが画数が少なく、かつ“光”は直感的。
* **学習コスト**: 「光」は最も基本的な字のひとつ、「谱」は音楽の「谱(楽譜)」でも使い回せる。

1. **helic**

* **提案漢字**: 螺旋桨
* **選定理由**: 中国語で「螺旋桨(luóxuánjiǎng)」はプロペラを指す標準的な表現。
* **学習コスト**: 「螺」「旋」「桨」はやや画数が多いが、13番の“spiral(螺旋)”と部品を共有可能。

1. **spiral**

* **提案漢字**: 螺旋
* **選定理由**: 中国語における“スパイラル”の定訳。12番(helic)の「螺旋桨」と重複部分「螺旋」を再利用できる。
* **学習コスト**: 12番と同じ2文字で追加学習なし。

1. **cikl**

* **提案漢字**: 周期
* **選定理由**: 物理・数学文脈で“周(まわ)る周期”を示すのに最も直截的な語。「循环」も近いが「周期」のほうが“周期(Period)”に直結する。
* **学習コスト**: 「周」「期」ともに日中で頻度が非常に高い。

1. **period**

* **提案漢字**: 周期
* **選定理由**: 上記14番同様、物理での“周期”を意味するため同じ訳語で統一可能(サイクル／周期がほぼ同義)。
* **学習コスト**: 14番とまったく同じ2文字。新規文字なし。

1. **procesi**

* **提案漢字**: 行列
* **選定理由**: 宗教的行列“procession”をイメージ。中国語で「行列(xíngliè)」は列をなして進むこと(行進)を指す文脈でも使える。
* **学習コスト**: 「行」「列」はどちらも日常使用度が高い。17番や16番での「列」と関連付けも可能。

1. **vic**

* **提案漢字**: 列
* **選定理由**: “列, row, line”を意味する。簡潔かつ「行列」の一部としても再利用されている。
* **学習コスト**: すでに16番で「列」が出現。追加学習なし。

1. **seri**

* **提案漢字**: 系列
* **選定理由**: 中国語で“シリーズ・連続”を意味する一般的用語。「系」は“つながり、連続”、“列”は既出の要素を再利用。
* **学習コスト**: 新規は「系」(7画)のみ。「列」は17番と共通。

1. **spec**

* **提案漢字**: 类
* **選定理由**: 「种类」「类别」などで使われる「类(lèi)」を単字で当てて“種類”を表す。中国語で“分类(分類)”などにも出てくる要素。
* **学習コスト**: 「类」は10画だが、「分類」「カテゴリー」などにも絡む字で再利用しやすい。

1. **klasifik**

* **提案漢字**: 分类
* **選定理由**: 中国語で「分类(fēnlèi)」は“分類”の意味。語源的にも“classify”にあたる。すでに19番で出てきた「类」を再利用。
* **学習コスト**: 新規は「分」(4画)のみ。「类」は19番と共通。

1. **klas**

* **提案漢字**: 班级
* **選定理由**: 中国語で「班级(bān jí)」は学校などのクラスを指す代表的な語。社会階層の意味なら「阶级」だが、より中立的に“クラス”を表すのは「班级」。
* **学習コスト**: 「班」(10画)、「级」(6画)ともに中国語学習では頻出。

1. **kategori**

* **提案漢字**: 类别
* **選定理由**: 「类別(lèibié)」は“カテゴリー”を表す中国語の基本的表現。19番の「类」を再利用し、新規は「别」のみ。
* **学習コスト**: 「别」(7画)のみ追加。すでに「类」は19番で登場済み。

### 1) sistem

swift

Copy

sistem/体系/「体系」は日中双方で「システム」や体系を指すのに通用する語。/「体」「系」は他の割当（例：体制など）でも再利用が見込め、学習コストを抑えられる。

* **解説:**
  + 中国語の「体系」は「系统」にかなり近い意味を持ち、構造や仕組みの全体像を指します。
  + 日本語でも「体系」は「システム」「体系」を表す常用語であり、直感的に意味をつかみやすいでしょう。
  + 「体」「系」ともに画数がそこまで多くなく、ほかの語根でも再利用可能です。

### 2) reĝim

swift

Copy

reĝim/体制/政体・政治体制を表すのに日中双方で通用。/「体」「制」はそれぞれ比較的頻用され、学習コストを抑えられる。

* **解説:**
  + 中国語で「体制」は政治体制や制度全般を意味し、「政体」「レジーム」と近い概念です。
  + 「体」は「身体」「体系」など、すでに多様な文脈で使われる常用字で、日本語でも意味がつかみやすいです。
  + 「制」も「制度」「規制」など広範に使われるため汎用性が高く、セットで使うことで相互に学習コストを下げられます。

### 3) ord

perl

Copy

ord/顺序/物事の順番・秩序を指す日中共通表現。/「顺」「序」は一般的な用字で、画数も比較的少なく学習負荷が低い。

* **解説:**
  + 「顺序」は日本語「順序」と対応し、中国語でも「顺序」は並びや順番、手順などを示す常用語です。
  + 「顺」は簡体字(旧字体「順」)で、画数はやや多めですが頻度が高く学びやすい字です。
  + 「序」も「順序」「秩序」「次序」などでよく使うため、覚える価値が高い漢字です。

### 4) hierarki

swift

Copy

hierarki/等级制/階級制度・ヒエラルキーを指す表現。/「制」を再利用しつつ「等」「级」も汎用度が高い部首を含み学習コストを抑えやすい。

* **解説:**
  + 「等级」だけでも「等級」「グレード」「階層」などの意味合いがあり、それに「制」をつけた「等级制」は“階層的な制度”を表すのに便利です。
  + 「制」は上記「体制」と共通で、重複使用により学習コストを削減できます。
  + 「等」「级」も中国語圏では日常的に使うため、日本語話者でも比較的早く習得しやすいでしょう(「等級」「学級」などから連想可)。

### 5) net

swift

Copy

net/清稿/清書＝きれいな原稿を指す簡便な表現。/「清」は他でも再利用しやすく、「稿」も後述の「原稿」と共通し学習負荷を下げられる。

* **解説:**
  + 中国語で「清稿」と言うと「加筆訂正などを終えた清書」を意味する表現として通じます。
  + 「清」は「清单(明細リスト)」など今後も応用が見込める常用字です。
  + 「稿」は後述の「原稿(manuskript)」と同じ字を使うことで、学習効率が上がります。

### 6) manuskript

swift

Copy

manuskript/原稿/文字通り「原稿」を表す日中共通の常用語。/「稿」は上記「清稿」とも共有できるため学習量を削減。

* **解説:**
  + 「原稿」は日本語で「げんこう」、中国語で「yuán gǎo」と読み、ともに「下書き・草稿」「完成前の原稿」を指します。
  + 「稿」が先の「清稿」と共通しており、部品の重複による学習効率向上が期待できます。

### 7) kajer

swift

Copy

kajer/笔记/ノート、筆記を意味する表現。/「笔」「记」は「登记(登録)」などとも一部共通し学習コストを抑えられる。

* **解説:**
  + 中国語の「笔记」は「メモ」「ノート」の意味で広く使われるため、日本語話者にも比較的イメージしやすいです(「筆記」に近い)。
  + 「记」は「登记」で再利用予定、また「笔」も「筆」(旧字)と対応し、学習しやすいでしょう。

### 8) broŝur

swift

Copy

broŝur/小册/「小册子(小冊子)」の短縮形。/画数が少なく「小」「册」は他にも応用しやすい。

* **解説:**
  + 中国語で「小册子」はパンフレットや簡易な平綴本を指す標準的な言い方です。
  + 「子」を省いて「小册」としても通じやすい場合があり、2文字に圧縮しました。
  + 「册」は後述の「相册(アルバム)」などにも登場し、頻度の高い字です。

### 9) arkiv

swift

Copy

arkiv/档案/アーカイブ資料・古文書的な記録を表す。/比較的ポピュラーな語で「档」「案」も再利用可能。

* **解説:**
  + 中国語で「档案」は公的書類や古文書、記録の保管物を指す一般的な語で、日中とも「アーカイブ」に近いイメージを持ちやすいでしょう。
  + 「档」「案」ともに画数はやや多めですが、後々「档案管理」「提案」など別の単語でも応用しやすい組み合わせです。

### 10) arĥiv

swift

Copy

arĥiv/档案/上と同義語なので同じ割当。/同じ漢字を割り当てることで学習量を最小化。

* **解説:**
  + 「arkiv」と「arĥiv」はエスペラント上の綴りゆれ(あるいは古風/別形)ですが、意味にほぼ差がないため同じ「档案」を割り当てます。
  + 重複割当は学習コストを大幅に下げる効果があり望ましいです。

### 11) paper

swift

Copy

paper/纸/「紙」の簡体字。/一文字で意味を伝えられ、非常に基本的な漢字。

* **解説:**
  + 「纸」は日本語の「紙」の旧字体(紙)を簡略化したもの。
  + 画数も少なめであり、非漢字圏学習者にも早期定着が期待できます。

### 12) dokument

swift

Copy

dokument/文书/文書・公文を表す中国語表現。/「文」「书」はほかの語根にも再利用しやすく学習効率が高い。

* **解説:**
  + 「文书」は公的文書・書類を示す標準的な言い方。日本語の「文書(ぶんしょ)」に近い感覚で理解できます。
  + すでに「书」は今後の「说明书」などでも使われ、繰り返し学習が可能です。

### 13) registr

swift

Copy

registr/登记/登録・登記の意味で日中共通。/「记」は先の「笔记」と同字で相乗効果が得られる。

* **解説:**
  + 中国語の「登记」は「登録する」「記帳する」などの意味を持ち、直接的に“register”に対応します。
  + 「记」は「笔记」で使ったものと同じ部首(言辺＋己)を含むため、学習効率が良いです。
  + 「登」は日本語でも「登山」「登録」などで馴染み深い字といえます。

### 14) protokol

swift

Copy

protokol/议事录/会議録・議事録を指す中国語表現。/「议」「事」「录」は会議関係や記録で頻用されるため学習価値が高い。

* **解説:**
  + 「议事录」は「会议の議事録」のような公式記録を指す標準的な言い方です。
  + 「议」は簡体字(旧字「議」)、日本語の「議」(会議、議論など)と共通し、「录」も「記録」の「録」の簡体字。
  + 画数はやや多いものの、公的・正式文書を扱う上で頻出する単語です。

### 15) etat

swift

Copy

etat/清单/明細表・一覧表のイメージ。/「清」は既出の「清稿」と共通し、「单」も請求書などで使われ汎用度が高い。

* **解説:**
  + 中国語の「清单」は「品目や必要事項を書き出したリスト」を指し、項目ごとの明細を表すときにも多用される便利な語です。
  + 「清」は先に「清稿」で出てきており、再利用できるため学習コストを下げられます。
  + 「单」は「账单」(後述)などにも使われ、メモや書類の一部を示す時に非常に便利です。

### 16) faktur

swift

Copy

faktur/账单/「請求書」「勘定書」を指す中国語。/「单」を再利用し、全体の文字数を抑制。

* **解説:**
  + 「账单」は「発行済みの請求書」「顧客に提示する支払明細」などを意味し、日本語の「仕切書」に近い用途です。
  + すでに「单」を「清单」で使っており、今回「账」を覚えるだけで済むため学習負荷を軽減できます。

### 17) album

swift

Copy

album/相册/アルバムを指す簡便な2文字表現。/「册」は「小册」と共有可能で、関連の学習コストを下げられる。

* **解説:**
  + 「相册」は「写真アルバム」(フォトアルバム)を中心に、画像集など広くアルバム全般を示す表現です。
  + 「册」はすでに「小册」で使っており、また「相」は日本語「相手」「首相」「相違」などから連想がつきやすい字です。

### 18) volum

swift

Copy

volum/卷/(書籍などの)巻を表す簡体字。/一文字で明快に「巻」を示せるため学習コスト低。

* **解説:**
  + 中国語で「卷」(繁体:「卷」または「捲」)は巻物・巻き取るなどの意がありますが、本の「～巻」を表すのにも用いられます。
  + 画数がさほど多くなく、一文字で意味が明確なので使い勝手が良いでしょう。

### 19) libr

swift

Copy

libr/本/「書物」を意味する非常に基本的な漢字。/漢字圏学習者には馴染みやすく、再利用しやすい。

* **解説:**
  + 「本」は中国語で「书(書)」とは別ですが、「本」も単独で「书籍(書籍)」一般を示唆する場合があります(「一本书」のような言い方)。
  + 日本語でも「本」として慣れ親しんでおり、意味連想が非常に容易です。

### 20) ekzempler

swift

Copy

ekzempler/一本/「一冊」を表す分かりやすい組み合わせ。/「本」は上記「libr」と共通し、学習コスト削減。

* **解説:**
  + 中国語でも「一本(书)」で「一冊(の本)」を指す言い方が可能です。
  + 単に「册」だけでは「一冊」のニュアンスが出にくいため、「一本」にして明示しました。
  + 「一」は数字の中でも最も簡単で汎用度が高く、「本」は先述の通り再利用済みです。

### 21) cirkuler

swift

Copy

cirkuler/通函/回覧状や一斉送信されるお知らせ文書を表す。/2文字で比較的シンプル、ビジネス用公文にも頻出。

* **解説:**
  + 「通函」は「広く宛先に出す通知文書」「通達」「回状」に近い意味で、中国の官公庁や企業文書で用いられます。
  + 「通知」「传阅」などの候補もありますが、より“回覧状”に近い公的ニュアンスが「通函」に含まれます。
  + 「通」は日本語の「通行」「通信」、漢字圏でイメージしやすく、「函」は「文書を入れる箱」や「書状」という意味を持ちます。

### 22) prospekt

swift

Copy

prospekt/说明书/内容説明書・案内書の意味合いに近い。/「说」「明」「书」はいずれも使用頻度が高く習得しやすい。

* **解説:**
  + 「说明书」は説明書・解説書全般を指す中国語。小冊子スタイルで製品の情報や手順などを載せる場合にも使われます。
  + 「说」は日本語の「説」に近く、「明」は「明細」「明確」などで頻出、「书」は「文书」「本」等との共通性あり。
  + 3文字ですが、いずれもよく使う漢字なので学習効率は悪くありません。

### 1) sinoptik

swift

Copy

sinoptik/概要/「概要」は“あらまし・要点”の意味があり、「synoptic(総覧的・要約的)」を比較的近い形で表す。/どちらの漢字圏でも意味が分かりやすい上、常用頻度も高い。

* **理由**: 「概要(概+要)」は日本語・中国語のいずれでも「要点をまとめたもの」というニュアンスが伝わりやすい。
* **学習コスト**: 「概」「要」はいずれも常用字で、初学者が比較的早期に学ぶ漢字。

### 2) menu

css

Copy

menu/菜单/「菜单」は中国語でメニューを指す標準表現。/日中ともに“料理の一覧”と直観しやすい。

* **理由**: 中国語で最も一般的な「メニュー」の言い方。日本語話者も「菜单(菜單)」の字面から「料理リスト」を連想しやすい。
* **学習コスト**: 「菜」「单(單)」ともに比較的初級レベルの漢字。

### 3) katalog

swift

Copy

katalog/目录/中国語で「カタログ、目録」を意味する標準表現。/日本語の「目録」に近い字形で、双方に分かりやすい。

* **理由**: 中国語で「目录」は「目次」や「リスト」も含む広い意味。日本語「目録」とほぼ同じ字形で認識しやすい。
* **学習コスト**: 「目」「录(錄)」ともに比較的日常的な字。既に他の語根でも「目」を転用しうる。

### 4) tabel

swift

Copy

tabel/表/「一覧表・表組」を意味する簡潔な1文字。/「表」は日本語も同形。

* **理由**: 「表」は「テーブル(表)」「一覧表」を示す最もシンプルな1文字。
* **学習コスト**: 画数も少なく、日常語で登場頻度が高い。

### 5) list

swift

Copy

list/表/「リスト(一覧)」として、4) tabel と同じ「表」を再利用。/重複使用によって漢字の総数を抑える。

* **理由**: 「表」は「リスト」「表一覧」の双方に使え、学習負担軽減のため再利用。
* **学習コスト**: すでに出現済みのため追加学習コストはゼロ。

### 6) telegram

swift

Copy

telegram/电报/「電報」の中国語標準表記。/日本語の「電報」と直感的に対応する。

* **理由**: 中国語の「电报」はそのまま「電報」であり、とても分かりやすい。
* **学習コスト**: 「电(電)」「报(報)」はいずれも常用かつすでに出現(報を後に再利用予定)しやすい字。

### 7) orografi

swift

Copy

orografi/山地/地理・山岳関係を示す最も簡潔な表現の一つ。/専門用語だが、共通度の高い字「山」「地」を活用。

* **理由**: 厳密には「山地」は“山岳地帯”を指し、純粋な「山岳誌／山岳地形学」とは少しズレがあるが、1文字・2文字で近い意味を示すならこれが妥協案。
* **学習コスト**: 「山」「地」は初級レベルで、ほかにも転用しやすい汎用性が高い。

### 8) forum

swift

Copy

forum/论坛/中国語で「フォーラム」を意味する一般的表現。/日中ともに“討論・会議”の場という連想が可能。

* **理由**: 「论坛」は“討論の場・公の議論スペース”を意味し、インターネット上の「フォーラム」にも使われる。
* **学習コスト**: 「论(論)」「坛(壇)」は中上級程度だが、他の類似概念(議論、祭壇)にも使える。

### 9) revu

swift

Copy

revu/刊/「専門雑誌・刊行物」として、簡潔に「刊」を充てる。/複数の出版物系語根で部品を再利用しやすい。

* **理由**: 厳密には「刊」は「発行する」の意味だが、“雑誌・定期刊行物”のニュアンスを含む文字として活用可能。
* **学習コスト**: 画数5と少なく、基本的な印刷・出版関連の語根で転用が可能。

### 10) gazet

swift

Copy

gazet/报/新聞・雑誌的な要素を含むが、とりあえず「报」を割り当て。/「报」を使い回し、学習コスト削減。

* **理由**: 「报(報)」は「新聞」「報道」などを連想しやすい。雑誌的用法はやや拡張だが、同じ報道媒体として割り当て。
* **学習コスト**: すでに 6) telegram(电报) で「报」を出しているため、新規負担なし。

### 11) ĵurnal

swift

Copy

ĵurnal/报/「新聞」を意味する語根だが、10) gazet と同じ「报」で使い回し。/同一漢字に上付き数字などで区別予定。

* **理由**: 「报(報)」自体が“新聞”の核心イメージなので適合度が高い。
* **学習コスト**: すでに登場済みのため追加学習負担なし。

### 12) litani

swift

Copy

litani/连祷/宗教用語「連祷(れんとう)」の中国語表記(簡体字)。/日本語「連祷」に近いので分かりやすい。

* **理由**: 「リタニー(litany)」を中国語で一般的に表すなら「连祷」または「连祷文」。2文字でまとめるなら「连祷」。
* **学習コスト**: 「连(連)」「祷(禱)」はやや専門的だが、他の宗教関連用語でも再利用の可能性あり。

### 13) rozari

swift

Copy

rozari/念珠/カトリックの「ロザリオ」にも、仏教的な「数珠」にも近い表現。/日本語で「念珠」と同形。

* **理由**: 中国語で「念珠」はカトリックのロザリオを指す場合もあるが、仏教の数珠も含む広義。
* **学習コスト**: 「念」「珠」いずれも比較的初級～中級で学ぶ常用字。

### 14) recitativ

swift

Copy

recitativ/宣叙调/オペラの叙唱部(レチタティーヴォ)を表す一般的な中国語訳。/音楽用語としては標準的。

* **理由**: 音楽用語として「宣叙调」が最もポピュラー。
* **学習コスト**: 3文字合計画数はやや多いが、他の音楽用語にも部分的に「调(調)」が転用可能。

### 15) repertuar

swift

Copy

repertuar/曲目/「レパートリー」を簡潔に示す2文字熟語。/日本語でも「曲目」は広く用いられる。

* **理由**: 「レパートリー＝演奏可能な楽曲一覧」を示しやすい表現。
* **学習コスト**: 「曲」「目」はすでに「目录」などとも関連し、汎用性が高い。

### 16) prelud

swift

Copy

prelud/前奏/「前奏」「前奏曲」の略として2文字に簡略化。/音楽文脈で通じやすい。

* **理由**: 中国語「前奏(曲)」は「プレリュード」に相当。3文字を避け、学習コスト低減。
* **学習コスト**: 「前」「奏」は中級程度だが、常用範囲内。

### 17) simfoni

swift

Copy

simfoni/交响乐/「シンフォニー」の中国語訳。/「交響楽」は日本語でも同義。

* **理由**: 中国語における標準の「交响乐」。3文字になったが、音楽用語として広く普及している。
* **学習コスト**: 「交」「响(響)」「乐(樂)」はいずれも音楽分野で多用される重要字。

### 18) uvertur

swift

Copy

uvertur/序曲/「序曲(オーヴァーチュア)」の中国語訳。/日本語でも「序曲」で同じ。

* **理由**: もっとも一般的な「序曲」。
* **学習コスト**: 「序」「曲」どちらも常用字であり、「曲」は既出(15など)なので追加負担は半減。

### 19) partitur

swift

Copy

partitur/总谱/音楽の「総譜」を指す標準表現。/フルスコア(全パート入り楽譜)の意味に合致。

* **理由**: 「乐谱(楽譜)」でも近いが、厳密には全パート入り「総譜」の方が正確。
* **学習コスト**: 「总(總)」「谱(譜)」はともに音楽・書類系でそこそこ登場する。

### 20) sonet

swift

Copy

sonet/十四行诗/ソネットを指す最も一般的な中国語訳。/文字通り“14行の詩”。

* **理由**: 中国語で「sonnet」は「十四行诗」。日本語でも「十四行詩」で同じ発想。
* **学習コスト**: 4文字だが各字は基礎的かつ詩歌で再利用可能な要素。

### 21) sponde

swift

Copy

sponde/长长格/古典詩形の「長長格」に相当するイメージとして便宜的に設定。/実際の中国語用法はやや稀。

* **理由**: 厳密な韻律用語の中国語訳は色々だが、直訳的に「長長格」を当てる例もある。
* **学習コスト**: 「长(長)」「格」は基礎漢字だが、2回「长」を使うため4文字相当扱い(「长长格」)。

### 22) bard

swift

Copy

bard/吟游诗人/吟遊詩人を表す定番の四字熟語。/日本語も同形で「吟遊詩人」。

* **理由**: 中国語で「吟游诗人」はヨーロッパ風の吟遊詩人(bard, minstrel)を指す翻訳語。
* **学習コスト**: 4文字だが「诗(詩)」「人」は既出(20で「詩」使用)で多少相殺。

1. **balad** / **歌谣** /
   * **選定理由**: 中国語で「歌谣(歌謡)」はバラッドの意味に近く、民謡や叙事的な歌などを広く指せます。日本語でも「歌謡」として意味を連想しやすいため。
   * **学習コスト**: 「歌」は後続でも多用予定のため、ここで導入しておくと他の語根にも転用可能。「谣」はやや画数が多いですが、「歌谣」と2文字熟語にすることで日本語話者にも理解しやすいと考えました。
2. **himn** / **圣歌** /
   * **選定理由**: 「圣歌」は宗教的な賛美歌・聖歌を指すのに広く用いられる表現。「赞美诗」も候補ですが、画数の多い「赞」よりは「圣」のほうがシンプル。
   * **学習コスト**: 「歌」は既出(1参照)。「圣」は画数も少なく他でも使いやすい字です。
3. **psalm** / **圣诗** /
   * **選定理由**: 「诗」は詩を意味する非常に頻出度の高い漢字。「圣诗」は「詩篇」「詩編」等の聖なる詩＝詩篇のイメージに近い表現。
   * **学習コスト**: (2)で導入した「圣」と、ここで初登場の「诗」を組み合わせ。以降、詩関連語で「诗」を再利用できます。
4. **kanzon** / **歌** /
   * **選定理由**: イタリア語の「カンツォーネ」等、歌曲全般をシンプルに「歌」で表現。
   * **学習コスト**: 既に(1)で「歌」を使っているため、追加学習コストなし。
5. **strof** / **节** /
   * **選定理由**: 「詩の節(連)」や「段落」を表す簡潔な字として「节」を採用。中国語で「诗节」「段落」「章节」など「节」には区切りの意味があります。
   * **学習コスト**: 新規漢字ですが画数は比較的少なめ(5画)で、他の文脈(節日・章节など)でも使われるため汎用性は高い。
6. **proz** / **散文** /
   * **選定理由**: 中国語・日本語ともに「散文」は「プローズ」「散文」の意味として非常に定着しています。
   * **学習コスト**: 「散」(9画)と「文」(4画)の2文字。どちらもよく使われる常用字であり、今後「文」はさらに再利用見込み大。
7. **epope** / **史诗** /
   * **選定理由**: 「史诗」は「史(歴史)」+「诗(詩)」で「叙事詩・英雄詩」を的確に表します。
   * **学習コスト**: 「诗」は既出。新しく「史」(5画)を導入するだけで済むので比較的負担が少ない。
8. **lirik** / **抒情诗** /
   * **選定理由**: 「抒情诗」は中国語で「抒情的な詩」、すなわち「リリック(叙情詩)」を指す定訳。
   * **学習コスト**: 「诗」は既出。「抒」(7画)と「情」(11画)は新規ですが、叙情を表す表現としては標準的です。
9. **poet** / **诗人** /
   * **選定理由**: 「詩人」の直訳。「诗」+「人」で「詩を書く人」を明確に示します。
   * **学習コスト**: 「诗」は既出。「人」は画数2画の超基本字。
10. **poem** / **诗** /

* **選定理由**: 詩そのものは「诗」1文字で十分表現可。
* **学習コスト**: 既出。「诗」は詩関連で広く再利用されるため学習効率が高い。

1. **vers** / **诗句** /

* **選定理由**: 「詩の句(行)」という意味合いから「诗句」が自然。「詩行(诗行)」も可能だが「句」のほうが「文句」「語句」等で汎用的。
* **学習コスト**: 「诗」は既出。「句」(5画)のみ新規導入。

1. **poezi** / **诗歌** /

* **選定理由**: 「诗歌」は詩全般(詩と歌)を指す常用表現。「詩歌」は「詩」という文学ジャンルを広く表す。
* **学習コスト**: 「诗」「歌」ともに既出で追加負担なし。

1. **idili** / **牧歌** /

* **選定理由**: 「牧歌」は日本語・中国語ともに「田園風・牧歌的な詩や歌」を連想しやすい。
* **学習コスト**: 「歌」は既出。「牧」(8画)のみ新規。

1. **elegi** / **哀歌** /

* **選定理由**: 「哀歌」は嘆きの歌・哀悼の詩歌(エレジー)を直接イメージしやすい。
* **学習コスト**: 「歌」は既出。「哀」(9画)のみ新規導入。

1. **eklog** / **牧歌** /

* **選定理由**: 「eclogue(牧歌・田園詩)」は(13)同様「牧歌」で十分表現可能。
* **学習コスト**: 「牧」「歌」ともに既出のため追加負担なし。

1. **prozodi** / **诗律** /

* **選定理由**: 「prosody」は韻律論・詩のリズム体系などを指し、中国語では「诗律(詩の律)」と呼ぶこともある。
* **学習コスト**: 「诗」は既出。「律」(9画)のみ新規。

1. **antologi** / **文选** /

* **選定理由**: 「anthology(文学選集)」を中国語では「选集」が一般的だが、既に導入した「文」を活かして「文选」とすることで、“文学的な文の選集”の意味を表せます。
* **学習コスト**: 「文」は既出。「选」(9画)のみ新規。

1. **literatur** / **文学** /

* **選定理由**: 「文学」は最もスタンダードな訳語。
* **学習コスト**: 「文」は既出。「学」(8画)を新規導入するのみ。

1. **beletr** / **美文** /

* **選定理由**: 「美文」は直訳すると「美しい文章」。日本語の「美文学」と同様のニュアンスを簡潔に示せます。
* **学習コスト**: 「文」は既出。「美」(9画)を新規導入。

1. **beletristik** / **美文学** /

* **選定理由**: 「美文学研究」「美文学の世界」といった意味合いを簡単に表現するため、「美」+「文」+「学」を組み合わせ。
* **学習コスト**: 「美」「文」「学」すべて既出につき追加負担なし。

1. **leksikon** / **词典** /

* **選定理由**: 「lexicon」は用語事典・語彙集の意味が強く、一般的に「词典(辞典)」が最も近い。
* **学習コスト**: 「词」(8画)と「典」(8画)は新規ですが、ともに常用字であり辞書関連で広く使われる。

1. **enciklopedi** / **百科** /

* **選定理由**: 「百科」は「百科全书(百科事典)」の略でもあり、簡潔かつわかりやすい。「百」+「科」で「あらゆる分野を網羅した知識」というイメージ。
* **学習コスト**: 「百」(6画)と「科」(9画)を新規導入。ともに日常単語(百货店・科学など)で再利用性は高い。

**etim/olog## / 词源学家 /**

* + **選定理由**: 「etim/olog##」は「語源学者(etymologist)」に相当すると考えられるため、中国語で一般的な「词源学家」を採用。
  + **学習コスト等**: 「词(詞)」「源」「学」「家」はいずれも比較的よく使われる常用漢字・常用語なので、学習コストは比較的許容範囲内。

1. **etimologi## / 词源学 /**
   * **選定理由**: 「etimologi##」は「語源学(etymology)」。中国語では「词源学」が自然。
   * **学習コスト等**: 上記(1)の「词」「源」「学」を再利用しており、新出字は少ない。
2. **hieroglif / 象形文字 /**
   * **選定理由**: 「ヒエログリフ」は普通「象形文字」と訳される。
   * **学習コスト等**: 「象」「形」「文」「字」は比較的頻出の部首や漢字で構成されており、初学者にも認知度が高いと考えられる。
3. **grafologi / 笔迹学 /**
   * **選定理由**: 「筆跡学」→中国語では「笔迹学」が定訳。
   * **学習コスト等**: 「笔(筆)」「迹(跡)」「学」の3文字。いずれも他の語根割当等で流用可能性が高い。
4. **filologi / 文献学 /**
   * **選定理由**: 「文献学」は中国語でもそのまま「文献学」。
   * **学習コスト等**: 「文」「献」「学」の3文字。いずれも比較的使用頻度の高い漢字。
5. **bibliografi / 书目学 /**
   * **選定理由**: 「書誌学」は「书目学」や「文献学」の一領域として扱われることも多いが、ここでは「书目学」を提案。
   * **学習コスト等**: 「书(書)」「目」「学」。どれも常用で画数も多すぎない。
6. **apolog / 寓言 /**
   * **選定理由**: 「教訓談」「寓話」などを含む「apologue」は中国語で「寓言」が通例。
   * **学習コスト等**: 「寓」「言」はやや画数はあるが、寓話という概念を1～2文字でまとめる場合にはこれが最も一般的。
7. **logogrif / 字谜 /**
   * **選定理由**: 「語字判じ物」＝「字謎」に該当。簡体字で「字谜」。
   * **学習コスト等**: 「字」「谜」の2文字のみ。いずれも他文脈でもそれなりに見かける語彙。
8. **silogism / 三段论 /**
   * **選定理由**: 「三段論法」は中国語で「三段论」。
   * **学習コスト等**: 「三」「段」「论(論)」の3文字のみで、いずれも高頻度。
9. **krestomati / 选集 /**

* **選定理由**: 「模範詩文集」など「文章の抜粋集」は一般に「选集」(Anthology)で問題ない。
* **学習コスト等**: 「选(選)」「集」はともに比較的よく使われる。

1. **korne / 角膜 /**

* **選定理由**: 「角膜」は中国語でも同じ「角膜」。医学用語として定着。
* **学習コスト等**: 「角」「膜」は専門用字だが、他の「網膜」「横隔膜」などでも「膜」を流用可能。

1. **retin / 网膜 /**

* **選定理由**: 「網膜」は簡体字で「网膜」。
* **学習コスト等**: 「网」「膜」。いずれも比較的頻出の偏旁(网=罒部, 月=肉月偏など)で覚えやすい。

1. **membran / 膜 /**

* **選定理由**: 一般的に解剖学の「膜」。
* **学習コスト等**: 既出(角膜・网膜など)の「膜」を再利用できるため学習コスト低減。

1. **diafragm / 横隔膜 /**

* **選定理由**: 「横隔膜」は医学用語として標準。簡体字でも同形。
* **学習コスト等**: 「横」「隔」「膜」。専門用だが、前項「膜」で一部共通化。

1. **lorn / 望远镜 /**

* **選定理由**: 日本語で「望遠鏡」に相当。簡体字では「望远镜」が標準的。
* **学習コスト等**: 「望」「远(遠)」「镜(鏡)」。後続の双眼鏡(双眼镜)等で「镜」を再利用可能。

1. **teleskop / 望远镜 /**

* **選定理由**: 「telescope」も標準的に「望远镜」。
* **学習コスト等**: (15)と同じ「望远镜」を使い回しできるため、学習コストは増えない。

1. **binokl / 双眼镜 /**

* **選定理由**: 「双眼鏡」は中国語で「双眼镜」とするのが自然(「双筒望远镜」とも)。
* **学習コスト等**: 「双」「眼」「镜」3文字で、すでに「镜」は既出。「眼」は今後(20)とも関連。

1. **kalejdoskop / 万花筒 /**

* **選定理由**: 「万華鏡」に対応する一般的な中国語が「万花筒」。
* **学習コスト等**: 「万」「花」「筒」も比較的初級レベルで登場しやすい漢字。

1. **miop / 近视 /**

* **選定理由**: 「近視」は中国語で「近视」。形容詞・名詞いずれにも使われる。
* **学習コスト等**: 「近」「视(視)」。いずれも常用。

1. **okul / 眼 /**

* **選定理由**: 「目」を指す標準的な簡体字は「眼睛」だが、1文字でシンプルに「眼」でも「目」を示せる。
* **学習コスト等**: 「眼」単独で使う例も多く、(17)「双眼镜」と連動させられる。

1. **pupil / 瞳孔 /**

* **選定理由**: 「瞳孔」は中国語でも同じ。医学的に確立された用語。
* **学習コスト等**: 「瞳」「孔」はやや専門字だが、医学や生物関連では頻出。

1. **spegul / 镜 /**

* **選定理由**: 「鏡」を意味する簡体字は「镜」または「镜子」。1文字で「镜」とすればより簡潔。
* **学習コスト等**: すでに「望远镜」「双眼镜」などで「镜」を使用。再利用により学習コスト削減。

1. **lens / 镜 /**
   * **選定理由**: 「镜」単体は本来「鏡(ミラー)」の意味ですが、たとえば「眼镜(メガネ)」「隐形眼镜(コンタクトレンズ)」など“レンズ”を含む語に頻出し、比較的連想しやすい。
   * **学習コスト**: 「镜」は頻度が高く、「金偏＋竟」の組み合わせとして日本人にも馴染みやすい部首構成(旧字体「鏡」)であるため、一文字でも比較的認識しやすい。
2. **radi / 光线 /**
   * **選定理由**: 放射線や光線など、何かが「放射される線(ビーム)」というニュアンスを「光线」としてまとめやすい。
   * **学習コスト**: 「光(ひかり)」「线(糸へん＋ヨコ線)」はいずれも使用頻度が高く、他の語根でも応用しやすい。
3. **radiator / 散热器 /**
   * **選定理由**: 「散热器」は「熱を散らす装置」の直訳であり、機械部品としてのラジエータを指す際の標準的な中国語。
   * **学習コスト**: 「散」「热」「器」はいずれも常用漢字(簡体)として使用頻度が高く、意味も分かりやすい。
4. **semafor / 信号机 /**
   * **選定理由**: 腕木式など鉄道信号機を含む「セマフォ」の概念を、やや広めに「信号機(シグナル装置)」と捉えた。交通信号機なども中国語で「信号灯」や「信号机」と言う。
   * **学習コスト**: 「信」「号」「机」はいずれも日常語彙として馴染みがあり、後の「～机(～機)」とも整合がとりやすい。
5. **fonograf / 留声机 /**
   * **選定理由**: 筒式(蝋管)蓄音機を含む「音を記録・再生する機械」として、中国語では「留声机」が最も通俗的。
   * **学習コスト**: 今後登場する「～机(機械)」系語根と合わせて「机」を再利用できる。
6. **gramofon / 留声机 /**
   * **選定理由**: 円盤式(ディスク式)の蓄音機(gramophone)でも、中国語では同じく「留声机」を使うのが一般的。
   * **学習コスト**: 5番と同一表記にすることで、新出文字を増やさないよう配慮。
7. **kartograf / 制图师 /**
   * **選定理由**: 「地図製作者」を指す一般的な表現として「制图师」(製図師)が自然。
   * **学習コスト**: 「制」「图」「师」はどれも中国語で頻用される要素。後述の「制图学」(cartography)などとも連動しやすい。
8. **atlas / 地图册 /**
   * **選定理由**: 「地図帳」は「地图册」または「地图集」とも言うが、ここでは比較的画数の少ない「册」を採用。
   * **学習コスト**: 「地图」自体は他でも再利用予定、さらに「册」(さつ)は画数が少なく分かりやすい。
9. **skem / 图表 /**
   * **選定理由**: 図表・チャートを示すには「图表」が簡潔。
   * **学習コスト**: 既に「图」は他で登場(地図や製図など)。新出の「表」も日常語彙として認知度が高い。
10. **map / 地图 /**

* **選定理由**: 「地図」は中国語で「地图」が最も標準的。
* **学習コスト**: 「地」「图」は他の地理関連・製図関連でも再利用予定。

1. **kartografi / 制图学 /**

* **選定理由**: 「地図製作法・地図学」に相当する「制图学」が適切。
* **学習コスト**: 7番(kartograf)と同じ「制图」＋「学」の組み合わせで、新たな文字を極力増やさない。

1. **horoskop / 星盘 /**

* **選定理由**: 西洋占星術でホロスコープ(星位図)を描く際、「星盘(星の盤)」と呼ぶのが一般的。
* **学習コスト**: 「星」は後の「占星术」とも関連。「盘」(皿の意)も比較的使用頻度が高く、視覚的イメージも取りやすい。

1. **astrologi / 占星术 /**

* **選定理由**: 「占星術」は中国語でほぼ「占星术」に固定される表現。
* **学習コスト**: 「星」は天文分野でも多用し、再利用メリット大。「术」は「芸術」「技術」などにも通じる。

1. **astr / 天体 /**

* **選定理由**: 「天体」は「celestial body」を指す標準的な訳。
* **学習コスト**: 「天」は日常使用度が非常に高く、後述の「天文学」などとの連動が容易。

1. **astronomi / 天文学 /**

* **選定理由**: 「天文学」は言わずと知れた天文の学問名。
* **学習コスト**: 「天」「文」「学」はいずれも再利用しやすく、日本人にも理解しやすい。

1. **kosmogoni / 宇宙起源论 /**

* **選定理由**: 「cosmogony＝宇宙の起源論」を表す最も直接的な訳。
* **学習コスト**: 文字数は多いが「宇宙」は後続の“kosmo-”系でも頻出見込み。「论」(論)も学術用語として再利用機会が多い。

1. **kosmograf / 宇宙学家 /**

* **選定理由**: 厳密には「cosmographer＝宇宙誌学者」だが、中国語で近い概念を表すなら「宇宙学家(=cosmologist)」が通りが良い。
* **学習コスト**: 「宇宙」は16番で使用済み。「学家」は専門家を示す常套表現で馴染みやすい。

1. **kosmografi / 宇宙学 /**

* **選定理由**: 「cosmography＝宇宙形状誌」に相当する一般的訳語が少ないため、やや広義の「宇宙学」で代用。
* **学習コスト**: すでに登場した「宇宙＋学」を再利用し、新出字を抑制。

1. **geografi / 地理学 /**

* **選定理由**: 「地理学」は定訳。
* **学習コスト**: 「地」は地図などですでに使用。「理」「学」も一般用語で認知度高い。

1. **geologi / 地质学 /**

* **選定理由**: 「地質学」も定訳。「质」は簡体字で8画と比較的少なめ。
* **学習コスト**: ほかの「地～学」系と共通部分が多く、まとまりやすい。

1. **geodezi / 测地学 /**

* **選定理由**: 「測地学」を指す一般的な略称。正式には「大地测量学」だが、短縮形「测地学」も十分通じる。
* **学習コスト**: 「测」はすでに他で出ていなくとも、今後科学技術系用語で登場する頻度は高め。「地」「学」は再利用済み。

1. **topografi / 地形学 /**

* **選定理由**: 「地形学」は「topography」に対応する定訳。
* **学習コスト**: 「地」「形」「学」も常用要素であり、他の地理関連用語と部品を共有。